

注3

大学番号：私114

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部設置

注1

届出

東洋大学 情報連携学部 情報連携学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東洋大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 赤羽台事務課

職名・氏名 カチョウ アツミ モトヤス
課長・渥美 元康

電話番号 03-5924-2603

（夜間） 03-5924-2600

F A X 03-5924-2700

e-mail ml-iniad-fs@toyo.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書

の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

情報連携学部

＜情報連携学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1～4
2. 授業科目の概要	5～13
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	15～22
5. 教員組織の状況	23～44
6. 留意事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46～48

添付資料

- ①建築等設置計画変更書
- ②校地面積変更書
- ③東洋大学高等教育推進センター規程
- ④設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人東洋大学

(2) 大 学 名 東洋大学

(3) 大学の位置

(〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20)
〒115-0053 東京都北区赤羽台1-7-11

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フクカワ シンジ) 福 川 伸 次 (平成24年12月)		
学 長	(タケムラ マキオ) 竹 村 牧 男 (平成21年9月)		
学 部 長	(サカムラ ケン) 坂 村 健 (平成29年4月)		
学 科 長	(ナカムラ シュウゴ) 中 村 周 吾 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報連携学部 情報連携学科 学士(情報連携学)	工学関係 経済学関係	4年	400人	—	1600人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ < >内の数字は、母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員					400 ー		400 ー		1.02倍	
					(ー) 「ー」		(ー) 「ー」			
志願者数					3164 (ー) 「ー」	(ー) (ー) 「ー」	5205 (ー) 「ー」	(ー) (ー) 「ー」		
受験者数					3101 (ー) 「ー」	(ー) (ー) 「ー」	5067 (ー) 「ー」	(ー) (ー) 「ー」		
合格者数					1113 (ー) 「ー」	(ー) (ー) 「ー」	1076 (ー) 「ー」	(ー) (ー) 「ー」		
B 入学者数					428 (ー) [34]	(ー) (ー) 「ー」	394 (ー) [25]	(ー) (ー) 「ー」		
入学定員超過率 B / A					1.07		0.98			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
 (例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次					428		399		
					[34]	[-]	[25]	[-]	
					(-)	(-)	(5)	(-)	
2 年次							411		
						[34]	[-]		
		(-)	(-)						
3 年次									
4 年次									
計					428		810		
					[34]		[59]		
					(-)		(5)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
(例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成29年度	428 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	810 人	12 人	平成29年度	12 人	0 人	進路再考、経済的事情
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	1238 人	12 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{428} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{12}{810} = \boxed{1.48} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報連携学部 情報連携学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	井上門了と日本近代思想	1-2-3-4①・③	2				1				
	哲学概論	1-2-3-4②・④	2				1				
	異文化交渉論	1-2-3-4①・③	2				1				
	情報技術者の倫理	1-2-3-4①・③	2				1				
	世界の歴史Ⅰ	1-2-3-4②・④	2								兼1
	世界の歴史Ⅱ	1-2-3-4①・③	2								兼1
	情報と法	1-2-3-4②・④	2								兼2
	ミクロ経済学	1-2-3-4①・③	2			1					
	マクロ経済学	1-2-3-4②・④	2			1					
	国際経済学(貿易・開発)	1-2-3-4①・③	2			1					
	国際経済学(金融・通貨)	1-2-3-4②・④	2			1					
	金融市場と構造	1-2-3-4①・③	2			1					
	企業金融と金融健全性	1-2-3-4②・④	2			1					
	国際キャリア概論	1-2-3-4③	2								兼1
	留学のすすめ	1-2-3-4④	2								兼1
	日本事情A	1-2-3-4①	2							1	兼1
	日本事情B	1-2-3-4②	2							1	兼1
	キャリアデベロップメント論A	1-2-3-4①	2								兼1
	キャリアデベロップメント論B	1-2-3-4②	2								兼1
	スポーツ健康科学実技ⅠA	1-2-3-4前	1								兼12
	スポーツ健康科学実技ⅠB	1-2-3-4後	1								兼12
	スポーツ健康科学実技ⅡA	1-2-3-4前	1								兼12
	スポーツ健康科学実技ⅡB	1-2-3-4後	1								兼12
	スポーツ健康科学実技ⅢA	1-2-3-4前	1								兼12
	スポーツ健康科学実技ⅢB	1-2-3-4後	1								兼12
	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1-2-3-4前・後	2								兼2
	スポーツ健康科学講義ⅡA	1-2-3-4前	2								兼3
	スポーツ健康科学講義ⅡB	1-2-3-4後	2								兼3
	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1-2-3-4前・後	2								兼1
基礎教育科目	総合・学際ⅠA	1-2-3-4前	2								兼4
	総合・学際ⅠB	1-2-3-4後	2								兼4
	総合・学際ⅡA	1-2-3-4前	2								兼3
	総合・学際ⅡB	1-2-3-4後	2								兼2
	English for Academic PurposesⅠA Listening/Speaking	1-2-3-4前・後	2								兼5
	English for Academic PurposesⅠB Reading/Writing	1-2-3-4前・後	2								兼5
	English for Academic PurposesⅡA Listening/Speaking	1-2-3-4前・後	2								兼5
	English for Academic PurposesⅡB Reading/Writing	1-2-3-4前・後	2								兼5
	Pre-Study Abroad College Study Skills	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Business English Communication	1-2-3-4前・後	2								兼1
	Integrated JapaneseⅠ	1-2-3-4前・後	4								兼1
	Integrated JapaneseⅡ	1-2-3-4前・後	4								兼1
	Integrated JapaneseⅢ	1-2-3-4前・後	4								兼1
	Integrated JapaneseⅣ	1-2-3-4前	4								兼1
	Japanese Reading and CompositionⅠ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Reading and CompositionⅡ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Reading and CompositionⅢ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Reading and CompositionⅣ	1-2-3-4前	1								兼1
	Kanji LiteracyⅠ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Kanji LiteracyⅡ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Kanji LiteracyⅢ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Kanji LiteracyⅣ	1-2-3-4前	1								兼1
	Project WorkⅠ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Project WorkⅡ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Project WorkⅢ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Project WorkⅣ	1-2-3-4前	1								兼1
	Japanese Listening ComprehensionⅠ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Listening ComprehensionⅡ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Listening ComprehensionⅢ	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Listening ComprehensionⅣ	1-2-3-4前	1								兼1
	Japanese Culture and Society A	1-2-3-4後	2								兼1
	Japanese Culture and Society B	1-2-3-4前	2								兼1
	Introduction to Japanology A	1-2-3-4後	2								兼1
	Introduction to Japanology B	1-2-3-4前	2								兼1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	井上門了と日本近代思想	1-2-3-4■	2				1				
	哲学概論	1-2-3-4■	2				1				
	異文化交渉論	1-2-3-4■	2				1				
	情報技術者の倫理(未開講)	1-2-3-4①・③	2				1				
	世界の歴史Ⅰ	1-2-3-4■	2								兼1
	世界の歴史Ⅱ	1-2-3-4■	2								兼1
	情報と法	1-2-3-4■	2								兼2
	ミクロ経済学	1-2-3-4■	2			1					
	マクロ経済学	1-2-3-4■	2			1					
	国際経済学(貿易・開発)	1-2-3-4■	2			1					
	国際経済学(金融・通貨)	1-2-3-4■	2			1					
	金融市場と構造(未開講)	1-2-3-4①・③	2			1					
	企業金融と金融健全性(未開講)	1-2-3-4②・④	2			1					
	国際キャリア概論	1-2-3-4■	2								兼2
	留学のすすめ	1-2-3-4■	2								兼1
	日本事情A	1-2-3-4■	2							1	兼1
	日本事情B	1-2-3-4■	2							1	兼1
	キャリアデベロップメント論A(未開講)	1-2-3-4①	2								兼1
	キャリアデベロップメント論B(未開講)	1-2-3-4②	2								兼1
	スポーツ健康科学実技ⅠA	1-2-3-4前	1								兼17
	スポーツ健康科学実技ⅠB	1-2-3-4後	1								兼17
	スポーツ健康科学実技ⅡA	1-2-3-4前	1								兼17
	スポーツ健康科学実技ⅡB	1-2-3-4後	1								兼17
	スポーツ健康科学実技ⅢA	1-2-3-4前	1								兼17
	スポーツ健康科学実技ⅢB	1-2-3-4後	1								兼17
	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1-2-3-4前・後	2								兼2
	スポーツ健康科学講義ⅡA	1-2-3-4前	2								兼3
	スポーツ健康科学講義ⅡB	1-2-3-4後	2								兼3
	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1-2-3-4前・後	2								兼1
基礎教育科目	総合・学際ⅠA	1-2-3-4前	2								兼3
	総合・学際ⅠB	1-2-3-4後	2								兼2
	総合・学際ⅡA	1-2-3-4前	2								兼2
	総合・学際ⅡB	1-2-3-4後	2								兼1
	English for Academic PurposesⅠA Listening/Speaking	1-2-3-4前・後	2								兼1
	English for Academic PurposesⅠB Reading/Writing	1-2-3-4前・後	2								兼1
	English for Academic PurposesⅡA Listening/Speaking	1-2-3-4前・後	2								兼1
	English for Academic PurposesⅡB Reading/Writing	1-2-3-4前・後	2								兼1
	Pre-Study Abroad College Study Skills	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Business English Communication	1-2-3-4前・後	2								兼1
	Integrated JapaneseⅠ(未開講)	1-2-3-4前・後	4								兼1
	Integrated JapaneseⅡ(未開講)	1-2-3-4前・後	4								兼1
	Integrated JapaneseⅢ(未開講)	1-2-3-4前・後	4								兼1
	Integrated JapaneseⅣ(未開講)	1-2-3-4前	4								兼1
	Japanese Reading and CompositionⅠ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Reading and CompositionⅡ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Reading and CompositionⅢ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Reading and CompositionⅣ(未開講)	1-2-3-4前	1								兼1
	Kanji LiteracyⅠ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Kanji LiteracyⅡ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Kanji LiteracyⅢ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Kanji LiteracyⅣ(未開講)	1-2-3-4前	1								兼1
	Project WorkⅠ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Project WorkⅡ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Project WorkⅢ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Project WorkⅣ(未開講)	1-2-3-4前	1								兼1
	Japanese Listening ComprehensionⅠ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Listening ComprehensionⅡ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Listening ComprehensionⅢ(未開講)	1-2-3-4前・後	1								兼1
	Japanese Listening ComprehensionⅣ(未開講)	1-2-3-4前	1								兼1
	Japanese Culture and Society A(未開講)	1-2-3-4後	2								兼1
	Japanese Culture and Society B(未開講)	1-2-3-4前	2								兼1
	Introduction to Japanology A(未開講)	1-2-3-4後	2								兼1
	Introduction to Japanology B(未開講)	1-2-3-4前	2								兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数				専任教員等の配置				兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情報連 携学 基盤 科目	基礎 科目	情報連携学概論	1前	2		8					
		情報連携のための数学A	1・2①・②	2			1				
		情報連携のための数学B	1・2③・④	2			1				
		情報連携のための確率・統計学A	1・2①・②	2			1				
		情報連携のための確率・統計学B	1・2③・④	2			1				
		情報連携のための物理学A	1・2①・②	2							兼1
		情報連携のための物理学B	1・2③・④	2							兼1
	分野 別 科目	情報連携ビジネス概論	1・2後	2		2					
		情報連携シビルシステム概論	1・2後	2		1					
		情報連携エンジニアリング概論	1・2後	2		2					
		情報連携デザイン概論	1・2後	2		2					
コ ミ ュ ニ ケー ション 科目	必修 コ ミ ュ ニ ケー ション 科目	リスニング・スピーキング演習 I (英語)	1前	4				3			
		リスニング・スピーキング演習 II (英語)	1後	4				3			
		リーディング・ライティング演習 I (英語)	1前	2				2			
		リーディング・ライティング演習 II (英語)	1後	2				2			
		リスニング・スピーキング演習 I (日本語)	1前	4						1	兼1
		リスニング・スピーキング演習 II (日本語)	1後	4						1	兼1
		リーディング・ライティング演習 I (日本語)	1前	2						1	兼1
		リーディング・ライティング演習 II (日本語)	1後	2						1	兼1
		リスニング・スピーキング演習 III (英語)	2前	2				3			
		リスニング・スピーキング演習 IV (英語)	2後	2				3			
	選択 コ ミ ュ ニ ケー ション 科目	リーディング・ライティング演習 III (英語)	2前	2				3			
		リーディング・ライティング演習 IV (英語)	2後	2				3			
		リスニング・スピーキング演習 III (日本語)	2前	2							兼1
		リスニング・スピーキング演習 IV (日本語)	2後	2							兼1
		リーディング・ライティング演習 III (日本語)	2前	2							兼1
		リーディング・ライティング演習 IV (日本語)	2後	2							兼1
専 門 科 目	情報連 携基 礎 科目	コンピュータシステム概論 I	1①・②	2			1	3			
		コンピュータシステム概論 II	1③・④	2			1	3			
		ソフトウェア開発概論 I	1①・②	2			1	3			
		ソフトウェア開発概論 II	1③・④	2			1	3			
		コンピュータ社会概論	1③・④	2			1	1			
	ビ ジ ネ ス 分 野	会計論 I	2①・②	2		1					
		経営論 I	2①・②	2		1					
		統計とデータ分析 I	2①・②	2			1				
		会計論 II	2③・④	2		1					
		経営論 II	2③・④	2		1					
		統計とデータ分析 II	2③・④	2			1				
		経営論 III	3①・②	2		1					
		データ・マイニング論	3①・②	2		1					
		人工知能	3①・②	2		1					
		ディープ・ラーニング	3③・④	2		1					
		知的財産権論	3③・④	2			1				
		ビッグデータ解析	3③・④	2		1					
		ビジネス・インキュベーション論 I	4①	2		1					
		ビジネス・インキュベーション論 II	4②	2		1					
	シ ビ ル シ ス テ ム 分 野	ビジネス・インキュベーション論 III	4③	2		1					
		ビジネス・インキュベーション論 IV	4④	2			1				
		データ・サイエンス論 I	4①	2		1					
		データ・サイエンス論 II	4②	2		1					
		データ・サイエンス論 III	4③	2			1				
		データ・サイエンス論 IV	4④	2			1				
		環境科学と政策	2①・②	2			1				
		建築デザイン	2①・②	2		1					
		インフラマネジメント	2①・②	2		1					
		エネルギーと環境インフラ	2③・④	2			1				
		産業エコロジー	2③・④	2		1					
		都市・地域マネジメント	2③・④	2			1				
		地理情報システム	3①・②	2		1					
		社会資本経営	3①・②	2		1					
		ユビキタスネットワークと生活	3①・②	2		1					
		ライフラインマネジメント	3③・④	2		1					
		交通と情報マネジメント	3③・④	2			1				
		持続可能社会と情報マネジメント	3③・④	2			1				
		インフラ・サービス論 I	4①	2		1					
		インフラ・サービス論 II	4②	2		1					
		インフラ・サービス論 III	4③	2		1					
		インフラ・サービス論 IV	4④	2			1				
		クオリティ・オブ・ライフ論 I	4①	2		1					
		クオリティ・オブ・ライフ論 II	4②	2			1				
		クオリティ・オブ・ライフ論 III	4③	2			1				
		クオリティ・オブ・ライフ論 IV	4④	2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
情報連携学 基盤科目	基 礎 科 目	情報連携学概論	1前	2		8					
		情報連携のための 数学A	1・2①・②	2			1				
		情報連携のための 数学B	1・2③・④	2			1				
		情報連携のための 確率・統計学A	1・2①・②	2			1				
		情報連携のための 確率・統計学B	1・2③・④	2			1				
		情報連携のための 物理学A	1・2①・②	2						兼1	
	分 野 別 科 目	情報連携ビジネス概論	1・2③・④	1		3	2				
		情報連携シビルシステム概論	1・2③・④	1		5	2				
		情報連携エンジニアリング概論	1・2③・④	1		5	3				
		情報連携デザイン概論	1・2③・④	1		3					
コ ミ ュ ニ ケー ション 科目	必 修 コ ミ ュ ニ ケー ション 科目	リスニング・スピーキング演習 Ⅰ(英語)	1前	4			1	4			
		リスニング・スピーキング演習 Ⅱ(英語)	1後	4			1	4			
		リーディング・ライティング演習 Ⅰ(英語)	1前	2			1	4		兼1	
		リーディング・ライティング演習 Ⅱ(英語)	1後	2			1	4		兼1	
		リスニング・スピーキング演習 Ⅰ(日本語)	1前	4					1	兼1	
		リスニング・スピーキング演習 Ⅱ(日本語)	1後	4					1	兼1	
		リーディング・ライティング演習 Ⅰ(日本語)	1前	2					1	兼2	
		リーディング・ライティング演習 Ⅱ(日本語)	1後	2					1	兼2	
	選 択 コ ミ ュ ニ ケー ション 科目	リスニング・スピーキング演習 Ⅲ(英語)	2前	2			1	3			
		リスニング・スピーキング演習 Ⅳ(英語)	2後	2			1	3			
		リーディング・ライティング演習 Ⅲ(英語)	2前	2			1	3			
		リーディング・ライティング演習 Ⅳ(英語)	2後	2			1	3			
		リスニング・スピーキング演習 Ⅲ(日本語)	2前	2						兼2	
		リスニング・スピーキング演習 Ⅳ(日本語)	2後	2						兼2	
		リーディング・ライティング演習 Ⅲ(日本語)	2前	2						兼1	
		リーディング・ライティング演習 Ⅳ(日本語)	2後	2						兼1	
情報連携 基礎科目 専 門 科 目	情報連 携基 礎 科目	コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ	1前	4		8	3				
		コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ	1後	4		5	3				
		コンピュータ社会概論	1後	2		3	2				
	情報連携応用科目	ビ ジ ネ ス 分 野	会計論Ⅰ	2①・②	2		1				
			経営論Ⅰ	2①・②	2		2	1			
			統計とデータ分析Ⅰ	2①・②	2			1			
			会計論Ⅱ	2③・④	2		1				
			経営論Ⅱ	2③・④	2		2				
			統計とデータ分析Ⅱ	2③・④	2			1			
			経営論Ⅲ	3①・②	2		1				
			データ・マイニング論	3①・②	2		1				
			人工知能	3①・②	2		1				
			ディープ・ラーニング	3③・④	2		1				
			知的財産権論	3③・④	2			1			
			ビッグデータ解析	3③・④	2		1				
			ビジネス・インキュベーション論Ⅰ	4①	2		1				
			ビジネス・インキュベーション論Ⅱ	4②	2		1				
		シ ビ ル シ ス テ ム 分 野	ビジネス・インキュベーション論Ⅲ	4③	2		1				
			ビジネス・インキュベーション論Ⅳ	4④	2			1			
			データ・サイエンス論Ⅰ	4①	2		1				
			データ・サイエンス論Ⅱ	4②	2		1				
			データ・サイエンス論Ⅲ	4③	2			1			
			データ・サイエンス論Ⅳ	4④	2			1			
			環境科学と政策	2①・②	2			1			
			建築デザイン	2①・②	2		1				
			インフラマネジメント	2①・②	2		1				
			エネルギーと環境インフラ	2③・④	2			1			
			産業エコロジー	2③・④	2		1				
			都市・地域マネジメント	2③・④	2			1			
			地理情報システム	3①・②	2		1				
社会資本経営	3①・②	2		1							
ユビキタスネットワークと生活	3①・②	2		1							
ライフラインマネジメント	3③・④	2		1							
交通と情報マネジメント	3③・④	2			1						
持続可能社会と 情報マネジメント	3③・④	2			1						
インフラ・サービス論Ⅰ	4①	2		1							
インフラ・サービス論Ⅱ	4②	2		1							
インフラ・サービス論Ⅲ	4③	2		1							
インフラ・サービス論Ⅳ	4④	2			1						
クオリティ・オブ・ライフ論Ⅰ	4①	2		1							
クオリティ・オブ・ライフ論Ⅱ	4②	2		1							
クオリティ・オブ・ライフ論Ⅲ	4③	2		1							
クオリティ・オブ・ライフ論Ⅳ	4④	2			1						

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育 科目	哲学・ 思想	井上円了と日本近代思想		2			1				
		哲学概論(未開講)		2			1				
		異文化交渉論		2			1				
		情報技術者の倫理		2			1				
		世界の歴史Ⅰ		2							兼1
		世界の歴史Ⅱ		2							兼1
	経済・ 金融	情報と法		2							兼2
		ミクロ経済学		2		1					
		マクロ経済学		2		1					
		国際経済学(貿易・開発)(未開講)		2		1					
		国際経済学(金融・通貨)(未開講)		2		1					
		金融市場と構造(未開講)		2		1					
	国際人 の形 成	企業金融と金融健全性(未開講)		2		1					
		国際キャリア概論		2							兼1
		留学のすすめ		2							兼1
		日本事情A		2					1		
	キャリア ・健 康	日本事情B		2					1		
		キャリアデベロップメント論A(未開講)		2							兼1
		キャリアデベロップメント論B(未開講)		2							兼1
		スポーツ健康科学実技ⅠA		1							兼12
		スポーツ健康科学実技ⅠB		1							兼12
		スポーツ健康科学実技ⅡA		1							兼12
		スポーツ健康科学実技ⅡB		1							兼12
		スポーツ健康科学実技ⅢA		1							兼12
		スポーツ健康科学実技ⅢB		1							兼12
		スポーツ健康科学講義Ⅰ		2							兼2
		スポーツ健康科学講義ⅡA		2							兼3
		スポーツ健康科学講義ⅡB		2							兼3
	総合・ 学 際	スポーツ健康科学演習Ⅰ		2							兼1
		全学総合ⅠA		2							兼2
		全学総合ⅠB		2							兼2
		全学総合ⅡA		2							兼2
	英語 特 別 教 育 科 目	全学総合ⅡB		2							兼1
		English for Academic PurposesⅠA Listening/Speaking		2							兼5
		English for Academic PurposesⅠB Reading/Writing		2							兼5
		English for Academic PurposesⅡA Listening/Speaking(未開講)		2							兼5
		English for Academic PurposesⅡB Reading/Writing(未開講)		2							兼5
		Pre-Study Abroad College Study Skills (未開講)		1							兼1
		Pre-Study Abroad Basic Academic Writing(未開講)		1							兼1
		Pre-Study Abroad Academic Essay Writing(未開講)		1							兼1
		Business English Communication (未開講)		2							兼1
	留 学 生 支 援	Integrated JapaneseⅠ(未開講)		4							兼1
		Integrated JapaneseⅡ(未開講)		4							兼1
		Integrated JapaneseⅢ(未開講)		4							兼1
		Integrated JapaneseⅣ(未開講)		4							兼1
		Japanese Reading and CompositionⅠ (未開講)		1							兼1
		Japanese Reading and CompositionⅡ (未開講)		1							兼1
		Japanese Reading and CompositionⅢ (未開講)		1							兼1
		Japanese Reading and CompositionⅣ (未開講)		1							兼1
		Kanji LiteracyⅠ(未開講)		1							兼1
		Kanji LiteracyⅡ(未開講)		1							兼1
		Kanji LiteracyⅢ(未開講)		1							兼1
		Kanji LiteracyⅣ(未開講)		1							兼1
		Project WorkⅠ(未開講)		1							兼1
		Project WorkⅡ(未開講)		1							兼1
		Project WorkⅢ(未開講)		1							兼1
		Project WorkⅣ(未開講)		1							兼1
		Japanese Listening ComprehensionⅠ (未開講)		1							兼1
		Japanese Listening ComprehensionⅡ (未開講)		1							兼1
		Japanese Listening ComprehensionⅢ (未開講)		1							兼1
		Japanese Listening ComprehensionⅣ (未開講)		1							兼1
	留 学 生 支 援	Japanese Culture and Society A (未開講)		2							兼1
		Japanese Culture and Society B (未開講)		2							兼1
		Introduction to Japanology A (未開講)		2							兼1
		Introduction to Japanology B (未開講)		2							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情報 連 携 字 基 盤 科 目	基 盤 科 目	情報連携字根論	1前	2		8					
		情報連携のための数学A	1-2①・②	2			1				
		情報連携のための数学B	1-2③・④	2			1				
		情報連携のための確率・統計学A	1-2①・②	2			1				
		情報連携のための確率・統計学B	1-2③・④	2			1				
		情報連携のための物理学A	1-2①・②	2							兼1
		情報連携のための物理学B	1-2③・④	2							兼1
	分 野 別 科 目	情報連携ビジネス概論	1-2②・④		1		3				
		情報連携シビルシステム概論	1-2③・④		1		4	1			
		情報連携エンジニアリング概論	1-2②・④		1		2	2			
		情報連携デザイン概論	1-2③・④		1		3				
コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 科 目	必 修 コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 科 目	リスニング・スピーキング演習 I (英語)	1前	4					5		
		リスニング・スピーキング演習 II (英語)	1後	4					5		
		リーディング・ライティング演習 I (英語)	1前	2					5		兼1
		リーディング・ライティング演習 II (英語)	1後	2					4		兼2
		リスニング・スピーキング演習 I (日本語)	1前	4					1		兼1
		リスニング・スピーキング演習 II (日本語)	1後	4					1		兼1
		リーディング・ライティング演習 I (日本語)	1前	2					1		兼1
		リーディング・ライティング演習 II (日本語)	1後	2					1		兼1
	選 択 コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 科 目	リスニング・スピーキング演習 III (英語)	2前	2					3		
		リスニング・スピーキング演習 IV (英語)	2後	2					3		
		リーディング・ライティング演習 III (英語)	2前	2					3		
		リーディング・ライティング演習 IV (英語)	2後	2					3		
		リスニング・スピーキング演習 III (日本語)	2前	2							兼1
		リスニング・スピーキング演習 IV (日本語)	2後	2							兼1
		リーディング・ライティング演習 III (日本語)	2前	2							兼1
		リーディング・ライティング演習 IV (日本語)	2後	2							兼1
専 門 科 目	情 報 連 携 基 礎 科 目	コンピュータ・サイエンス概論 I	1前	4			5	3			
		コンピュータ・サイエンス概論 II	1後	4			3	3			
		コンピュータ社会概論	1後	2			3	2			
	ビ ジ ネ ス 分 野	会計論 I	2①・②	2		1					
		経営論 I	2①・②	2		1					
		統計とデータ分析 I	2①・②	2			1				
		会計論 II	2③・④	2		1					
		経営論 II	2③・④	2		1					
		統計とデータ分析 II	2③・④	2			1				
		経営論 III	3①・②	2		1					
		データ・マイニング論	3①・②	2		1					
		人工知能	3①・②	2		1					
		ディープ・ラーニング	3③・④	2		1					
		知能財産権論	3③・④	2			1				
		ビッグデータ解析	3③・④	2		1					
		ビジネス・インキュベーション論 I	4①	2		1					
		ビジネス・インキュベーション論 II	4②	2		1					
		ビジネス・インキュベーション論 III	4③	2		1					
		ビジネス・インキュベーション論 IV	4④	2			1				
	情 報 連 携 応 用 科 目	データ・サイエンス論 I	4①	2		1					
		データ・サイエンス論 II	4②	2		1					
		データ・サイエンス論 III	4③	2			1				
		データ・サイエンス論 IV	4④	2			1				
		環境科学と政策	2①・②	2			1				
		建築デザイン	2①・②	2		1					
		インフラマネジメント	2①・②	2			1				
		エネルギーと環境インフラ	2③・④	2			1				
		産業エコロジー	2③・④	2		1					
		都市・地域マネジメント	2③・④	2			1				
		地理情報システム	3①・②	2		1					
		社会資本経営	3①・②	2		1					
		ユビキタスネットワークと生活	3①・②	2		1					
		ライフラインマネジメント	3③・④	2		1					
		交通と情報マネジメント	3③・④	2			1				
		持続可能社会と情報マネジメント	3③・④	2			1				
	シ ビ ル シ ス テ ム 分 野	インフラ・サービス論 I	4①	2		1					
		インフラ・サービス論 II	4②	2		1					
		インフラ・サービス論 III	4③	2		1					
		インフラ・サービス論 IV	4④	2			1				
		クオリティ・オブ・ライフ論 I	4①	2		1					
		クオリティ・オブ・ライフ論 II	4②	2		1					
		クオリティ・オブ・ライフ論 III	4③	2			1				
		クオリティ・オブ・ライフ論 IV	4④	2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目	情報連携応用科目	コンピュータ・アーキテクチャ	2①・②	2	1						
		プログラミング言語Ⅰ	2①・②	2	1						
		情報数学	2①・②	2	1						
		コンピュータ・ネットワークⅠ	2③・④	2	1						
		プログラミング言語Ⅱ	3①・②	2	1						
		アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	2③・④	2	1						
		コンピュータ・ネットワークⅡ	3①・②	2	1						
		ソフトウェアエンジニアリング	3①・②	2	1						
		アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	3①・②	2	1						
		オペレーティングシステム	2③・④	2	1						
		データベース	3③・④	2	1						
		コンピュータ・システム	3③・④	2	1						
		コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅰ	4①	2	1						
		コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅱ	4②	2	1						
		コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅲ	4③	2	1						
		コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅳ	4④	2	1						
	デザイン分野	デザイン理論Ⅰ	2①・②	2	1						
		ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅠ	2①・②	2	1						
		コンピュータ支援設計Ⅰ	2①・②	2	3						
		デザイン理論Ⅱ	2③・④	2	1						
		デザイン理論Ⅲ	3①・②	2	1						
		ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅡ	2③・④	2	1						
		WEBデザインⅠ	3①・②	2	1						
		ユーザ・エクスペリエンス評価	3①・②	2	1						
		コンピュータ支援設計Ⅱ	2③・④	2	1						
		WEBデザインⅡ	3③・④	2	1						
		コンピュータ・グラフィクス	3③・④	2	1						
		工業デザイン	3③・④	2	3						
		デジタル・デザイン論Ⅰ	4①	2	1						
		デジタル・デザイン論Ⅱ	4②	2	1						
		デジタル・デザイン論Ⅲ	4③	2	1						
		デジタル・デザイン論Ⅳ	4④	2	1						
演習・実習	情報連携基礎演習	情報連携基礎演習Ⅰ	1講	2	1	1	1		9		
		情報連携基礎演習Ⅱ	1講	2	1	1	1		9		
	ビジネス演習	情報連携ビジネス演習Ⅰ	2通	4	1				2		
		情報連携ビジネス演習Ⅱ	2通	4	1				2		
		情報連携ビジネス演習Ⅲ	3通	4	2	1					
		情報連携ビジネス演習Ⅳ	3通	4	2	1					
	シビルシステム演習	情報連携シビルシステム演習Ⅰ	2通	4					3		兼1
		情報連携シビルシステム演習Ⅱ	2通	4					3		
		情報連携シビルシステム演習Ⅲ	3通	4					3		
		情報連携シビルシステム演習Ⅳ	3通	4					3		
	エンジニアリング演習	情報連携エンジニアリング演習Ⅰ	2通	4		2			1		
		情報連携エンジニアリング演習Ⅱ	2通	4	2				1		
		情報連携エンジニアリング演習Ⅲ	3通	4	1	2					
		情報連携エンジニアリング演習Ⅳ	3通	4	2	1					
	デザイン演習	情報連携デザイン演習Ⅰ	2通	4	3						
		情報連携デザイン演習Ⅱ	2通	4	1	1			1		
		情報連携デザイン演習Ⅲ	3通	4	3						
		情報連携デザイン演習Ⅳ	3通	4	2	1					
	情報連携実習	情報連携実習ⅠA	1講	1	11	5			1		
		情報連携実習ⅠB	1講	1	10	5			1		
		情報連携実習Ⅱ	2通	2	8	3			1		
		情報連携実習Ⅲ	3通	4	8	5			1		
		情報連携実習Ⅳ	4通	4	9	8			1		
	論文	卒業研究	4通	4	18						

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

(授業科目名・配当年次・単位数の変更) ○学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、授業科目名・配当年次(開講時期)・単位数を以下に変更。 ・「井上円了と日本近代思想」「世界の歴史Ⅰ・Ⅱ」「情報と法」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「国際キャリア概論」「留学のすすめ」「日本事情A・B」の開講時期を「1・2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4前・後」(クォータ開講からセメスタ開講)に変更。 ・「情報連携ビジネス概論」「情報連携シビルシステム概論」「情報連携エンジニアリング概論」「情報連携デザイン概論」の開講時期を「1・2後」から「1・2③・④」(セメスタ開講からクォータ開講)、単位数「2」から「1」に変更。 ・「コンピュータ社会概論」の開講時期を「1③・④」から「1後」(クォータ開講からセメスタ開講)に変更。 ・「コンピュータシステム概論Ⅰ・Ⅱ」「ソフトウェア開発概論Ⅰ・Ⅱ」を「コンピュータサイエンス概論Ⅰ・Ⅱ」に統合し、開講時期を「1①・②・③・④」から「1前・後」、単位数「2」から「4」に変更。 ・「情報連携基礎演習」を「情報連携基礎演習Ⅰ・Ⅱ」に分割し、開講時期を「1通」から「1前・後」、単位数を「4」から「2」に変更。 ・「情報連携実習Ⅰ」を「情報連携実習ⅠA・ⅠB」に分割し、開講時期を「1通」から「1前・後」、単位数を「2」から「1」に変更。 (専任教員等の配置の変更) ○教育内容の充実のため、専任教員等の配置及び兼任・兼任を以下に変更。 ・「日本事情A・B」…「助教0」から「助教1」、「兼1」から「兼0」に変更。 ・「情報連携ビジネス概論」…「教授2」から「教授3」に変更。 ・「情報連携シビルシステム概論」…「教授1」から「教授4」、「准教授0」から「准教授1」に変更。 ・「情報連携エンジニアリング概論」…「准教授0」から「准教授2」に変更。 ・「情報連携デザイン概論」…「教授2」から「教授3」に変更。 ○少人数教育の実施と効果的なクラス編成のため、専任教員等の配置及び兼任・兼任を以下に変更。 ・「リスニング・スピーキング演習Ⅰ・Ⅱ(英語)」…「講師3」から「講師5」に変更。 ・「リーディング・ライティング演習Ⅰ(英語)」…「講師2」から「講師5」、「兼0」から「兼1」に変更。 ・「リーディング・ライティング演習Ⅱ(英語)」…「講師2」から「講師4」、「兼0」から「兼2」に変更。 ・「リスニング・スピーキング演習Ⅰ・Ⅱ(日本語)」「リーディング・ライティング演習Ⅰ・Ⅱ(日本語)」…「助教0」から「助教1」に変更。 ・「コンピュータサイエンス概論Ⅰ」…「教授1」から「教授5」に変更。 ・「コンピュータサイエンス概論Ⅱ」…「教授1」から「教授3」に変更。 ・「コンピュータ社会概論」…「教授1」から「教授3」、「准教授1」から「准教授2」に変更。 ・「情報連携基礎演習Ⅰ・Ⅱ」…「教授0」から「教授1」、「助教3」から「助教9」に変更。 ・「情報連携実習ⅠA」…「教授7」から「教授11」、「准教授4」から「准教授5」に変更。 ・「情報連携実習ⅠB」…「教授7」から「教授10」、「准教授4」から「准教授5」に変更。 ○全学的な授業科目の効果的な実施のため、専任教員等の配置及び兼任・兼任を以下に変更。 ・「全学総合ⅠA・ⅠB」…「兼4」から「兼2」に変更。 ・「全学総合ⅡA」…「兼3」から「兼2」に変更。 ・「全学総合ⅡB」…「兼2」から「兼1」に変更。
--

【平成30年度】

(授業科目名・配当年次・単位数の変更) ○学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、授業科目名・配当年次(開講時期)・単位数を以下に変更。 ・「哲学概論」「異文化交渉論」「国際経済学(貿易・開発)」「国際経済学(金融・通貨)」の開講時期を「1・2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4前・後」(クォータ開講からセメスタ開講)に変更。 ・「ミクロ経済学」の開講時期を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。 ・「国際キャリア概論」の開講時期を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。 ・「情報連携のための数学A」「情報連携のための確率・統計学A」「情報連携のための物理学A」の開講時期を「1・2①・②」から「1・2①・③」に変更。 ・「情報連携のための数学B」「情報連携のための確率・統計学B」「情報連携のための物理学B」の開講時期を「1・2③・④」から「1・2②・④」に変更。 ・下記の科目を分割し、開講時期を「2通」から「2前・後」、単位数「4」から「2」に変更 「情報連携ビジネス演習Ⅰ・Ⅱ」→「情報連携ビジネス演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」 「情報連携シビルシステム演習Ⅰ・Ⅱ」→「情報連携シビルシステム演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」 「情報連携エンジニアリング演習Ⅰ・Ⅱ」→「情報連携エンジニアリング演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」 「情報連携デザイン演習Ⅰ・Ⅱ」→「情報連携デザイン演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」 ・「情報連携実習Ⅱ」を「情報連携実習ⅡA・ⅡB」に分割し、開講時期を「2通」から「2前・後」、単位数「2」から「1」に変更。 (専任教員等の配置の変更) ○教育内容の充実のため、専任教員等の配置及び兼任・兼任を以下に変更。 ・「国際キャリア概論」…「兼1」から「兼2」に変更。 ・「日本事情A・B」…「兼0」から「兼1」に変更。 ・「情報連携ビジネス概論」…「准教授0」から「准教授2」に変更。 ・「情報連携シビルシステム概論」…「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授2」に変更。 ・「情報連携エンジニアリング概論」…「教授2」から「教授5」、「准教授2」から「准教授3」に変更。 ・「経営論Ⅰ」…「教授1」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」に変更。 ・「経営論Ⅱ」…「教授1」から「教授2」に変更。 ・「プログラミング言語Ⅰ」…「教授0」から「教授1」に変更。 ・「コンピュータ・ネットワークⅠ」…「教授1」から「教授2」に変更。 ・「オペレーティング・システム」…「准教授0」から「准教授1」に変更。 ・「デザイン理論Ⅰ」…「教授1」から「教授2」に変更。 ○少人数教育の実施と効果的なクラス編成及び職名変更のため、専任教員等の配置及び兼任・兼任を以下に変更。 ・「リスニング・スピーキング演習Ⅰ・Ⅱ(英語)」…「准教授0」から「准教授1」、「講師5」から「講師4」に変更。 ・「リーディング・ライティング演習Ⅰ(英語)」…「准教授0」から「准教授1」、「講師5」から「講師4」に変更。 ・「リーディング・ライティング演習Ⅱ(英語)」…「准教授0」から「准教授1」、「兼2」から「兼1」に変更。 ・「リスニング・スピーキング演習Ⅲ・Ⅳ(英語)」「リーディング・ライティング演習Ⅲ・Ⅳ(英語)」…「准教授0」から「准教授1」に変更。 ・「リーディング・ライティング演習Ⅰ・Ⅱ(日本語)」「リスニング・スピーキング演習Ⅲ・Ⅳ(日本語)」…「兼1」から「兼2」に変更。 ・「コンピュータサイエンス概論Ⅰ」…「教授5」から「教授6」に変更。 ・「コンピュータサイエンス概論Ⅱ」…「教授3」から「教授5」に変更。 ・「コンピュータ社会概論」…「准教授0」から「准教授2」に変更。 ・「情報連携基礎演習Ⅰ・Ⅱ」…「教授1」から「教授4」、「准教授1」から「准教授2」、「助教9」から「助教10」に変更。 ・「情報連携ビジネス演習ⅠA・ⅠB」…「助教2」から「助教1」に変更。 ・「情報連携ビジネス演習ⅡA・ⅡB」…「助教2」から「助教3」に変更。 ・「情報連携シビルシステム演習ⅠA・ⅠB」…「助教3」から「助教4」、「兼1」から「兼0」に変更。 ・「情報連携シビルシステム演習ⅡA・ⅡB」…「助教3」から「助教4」に変更。 ・「情報連携エンジニアリング演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」…「助教1」から「助教4」に変更。 ・「情報連携デザイン演習ⅠA」…「兼0」から「兼3」に変更。 ・「情報連携デザイン演習ⅠB」…「兼0」から「兼1」に変更。 ・「情報連携デザイン演習ⅡA・ⅡB」…「教授1」から「教授2」、「助教1」から「助教0」、「兼0」から「兼3」に変更。 ・「情報連携実習ⅠA」…「教授11」から「教授13」、「准教授5」から「准教授7」、「助教1」から「助教4」に変更。 ・「情報連携実習ⅠB」…「教授10」から「教授13」、「准教授5」から「准教授7」、「助教1」から「助教4」に変更。 ・「情報連携実習ⅡA」…「教授8」から「教授14」、「准教授3」から「准教授6」に変更。 ・「情報連携実習ⅡB」…「教授8」から「教授13」、「准教授3」から「准教授6」に変更。 ○全学的な授業科目の効果的な実施のため、専任教員等の配置及び兼任・兼任を以下に変更。 ・「スポーツ健康科学実技ⅠA・ⅠB」「スポーツ健康科学実技ⅡA・ⅡB」「スポーツ健康科学実技ⅢA・ⅢB」…「兼12」から「兼17」に変更。 ・「全学総合ⅠA」…「兼2」から「兼3」に変更。 ・「English for Academic PurposesⅠA・ⅡA Listening/Speaking」…「兼5」から「兼1」に変更。 ・「English for Academic PurposesⅠB・ⅡB Reading/Writing」…「兼5」から「兼1」に変更。

(注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
東洋大学	20 科目	179 科目	科目	199 科目	21 科目 [1]	187 科目 [8]	科目 []	208 科目 [9]	
	科目	科目	科目	0 科目	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	
	科目	科目	科目	0 科目	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1		情報技術者の倫理	2	1・2・3・4①・③	一般	選択	未開講科目はいずれも基盤教育科目で社会人基礎力・人間力を養う科目であり、4年間を通して学ぶことを学生に指導している科目である。 また、特にこれら科目の科目については、学問の基礎や一定の専門性を身に付けた後に履修することがふさわしい内容であることから、1、2年次のみ在学となる平成30年度までは未開講とすることとした。 代替措置なし。
2		金融市場と構造	2	1・2・3・4①・③	一般	選択	
3		企業金融と金融健全性	2	1・2・3・4②・④	一般	選択	
4		キャリアデベロップメント論A	2	1・2・3・4①	一般	選択	
5		キャリアデベロップメント論B	2	1・2・3・4②	一般	選択	

- (注) ・ 配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
		該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学部では、基盤教育科目を4年間を通して学ぶ科目群として位置付け、主に「哲学・思想」「経済・金融」「国際の形成」「キャリア・健康」「総合・学際」の5領域にわたって33科目を設置している。 一方で、1年次はコンピュータ・サイエンスの基礎とコミュニケーションの能力の育成、2年次はエンジニアリング、デザイン、ビジネス、シビルシステムいずれかの専門分野について、高度な知識を身に付けるための講義と、実践的スキルを身に付けるための演習が教育の中心となっている。 このことをふまえ、特に未開講の5科目については、学問の基礎や一定の専門性を身に付けた後に履修することがふさわしい内容であることから、1、2年次のみ在学となる平成30年度までは未開講とすることとした。 なお、これらのことは、教育課程編成・実施の方針として、ホームページで公開するとともに、入学時や進級時のガイダンスで周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	=	$\frac{5}{199}$	=	2.51%
設置時の計画の授業科目数の計(A)				

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容			備考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	328,547.58㎡ 328,615.58㎡ 336,410.11㎡	0㎡	0㎡	328,547.58㎡ 328,615.58㎡ 336,410.11㎡	赤羽台キャンパス土地 登記手続等による修正 (30)			
	運動場用地	189,576.05㎡	0㎡	0㎡	189,576.05㎡	赤羽台キャンパス開設 による面積変更 (29)			
	小 計	518,123.63㎡ 518,191.63㎡ 525,986.16㎡	0㎡	0㎡	518,123.63㎡ 518,191.63㎡ 525,986.16㎡	借用面積 1,005.61㎡ 借用期間 2011/4/1～ 2041/3/31			
	そ の 他	290,230.61㎡ 290,230.82㎡ 282,259.15㎡	0㎡	0㎡	290,230.61㎡ 290,230.82㎡ 282,259.15㎡				
	合 計	808,354.24㎡ 808,422.45㎡ 808,245.31㎡	0㎡	0㎡	808,354.24㎡ 808,422.45㎡ 808,245.31㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	217,407.65㎡ 217,718.73㎡ 219,247.12㎡ (217,407.65㎡) (217,718.73㎡) (219,247.12㎡)	0㎡ (0㎡)	(0㎡)	217,407.65㎡ 217,718.73㎡ 219,247.12㎡ (217,407.65㎡) (217,718.73㎡) (219,247.12㎡)	改修工事等による変更 (30) 赤羽台キャンパス開設、 白山新棟共用開始 に伴う変更 (29)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	327室 328室 333室	153室 157室 107室	403室 401室 456室	33室 14 24 (補助職員 27人)	5室 7室 (補助職員 0人)	改修工事等による変更 (30) 赤羽台キャンパス開設、 白山新棟共用開始、 教室改修等による 変更 (29)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		情報連携学研資料と 共用用途見直しに よる変更 (29)			
	情報連携学部 情報連携学科			52 70 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
			冊						
			種						
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	情報連携学部 情報連携学科	1,551,493 (350,924) +559,473 (354,240) +631,992 (367,989) (1,551,493 (350,924)) +1,525,887 (351,035) +1,559,766 (356,733)	17,378 (5,500) 17,512 (5,528) 17,540 (5,514) 17,378 (5,500) 17,512 (5,528) 17,540 (5,514)	18,686 (18,586) 28,069 (27,423) 26,731 (26,090) 18,686 (18,586) 28,069 (27,423) 26,731 (26,090)	22,483 23,564 26,737 (22,483) (23,564) (26,737)	76,996 72,799 (76,996) (72,799)	— (—)		
	計	1,551,493 (350,924) +559,473 (354,240) +631,992 (367,989) (1,551,493 (350,924)) +1,525,887 (351,035) +1,559,766 (356,733)	17,378 (5,500) 17,512 (5,528) 17,540 (5,514) 17,378 (5,500) 17,512 (5,528) 17,540 (5,514)	18,686 (18,586) 28,069 (27,423) 26,731 (26,090) 18,686 (18,586) 28,069 (27,423) 26,731 (26,090)	22,483 23,564 26,737 (22,483) (23,564) (26,737)	76,996 72,799 (76,996) (72,799)	— (—)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	17,498.63㎡ 17,211.03㎡ 17,821.10㎡		2,763席 2,746席 2,780席		2,122,700冊 2,121,775冊 2,095,750冊		改修工事等による変更 (30) 白山キャンパス及び川越キャン パスの書架及び閲覧席の増設に よる変更 (30) 川越キャンパスの書架増設及び閲覧 席の増設と赤羽台キャンパスの閲覧 座席数を含めないことによる変 更 (29) 赤羽台キャンパス開設による面 積変更 (29)		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	21,097.14㎡ 17,617.10㎡ 19,966.44㎡		野 球 場 1 面、サッカー場 2 面 テ ニ ス コ ー ト 13 面 等				新川越体育館竣工等による変更 (30) 川越体育館解体(建替え)による 変更 (29)		
(8) 経 費 の 見 積 り	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員 1 人 当 り 研究費等	(千円) 532 604 641 589	(千円) 532 604 641 589	図書購入費	21,401千円	13,613千円 22,000千円	37,000千円 22,000千円	計画見直しに伴う変更 (30)
		共 同 研 究 費 等	80,000千円	80,000千円	設備購入費	901,073千円	6,047千円 5,000千円	2,564千円 5,000千円	計画見直しに伴う変更 (29)
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,500千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	千円	千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入等ならびに国庫からの補助金収入によって維持を図る。					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 学 校 名 称	東 洋 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
大学院修士・博士前期課程 文学研究科	年	人	年次 人	人		倍			
哲学専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	1.40	昭和27 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
インド哲学仏教学専攻	2	4	—	8	修士 (文学)	0.50	昭和27 年度	同上	
日本文学文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	0.50	昭和27 年度	同上	
中国哲学専攻	2	4	—	8	修士 (文学)	0.50	昭和29 年度	同上	
英文学専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.20	昭和31 年度	同上	
史学専攻	2	6	—	12	修士 (文学)	0.49	昭和42 年度	同上	
教育学専攻	2	20	—	40	修士 (教育学)	0.22	平成6 年度	同上	
英語コミュニケーション専攻	2	10	—	20	修士 (英語コミュニ ケーション)	0.30	平成16 年度	同上	
社会学研究科									
社会学専攻	2	10	—	20	修士(社会 学)	0.55	昭和34 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
社会心理学専攻	2	12	—	24	修士 (社会心理 学)	0.83	平成16 年度	同上	
福祉社会システム専攻	2	20	—	40	修士(社会 学)又は 修士(社会福 祉学)	0.15	平成30 年度	同上	
法学研究科									
私法学専攻	2	10	—	20	修士 (法学)	0.20	昭和39 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
公法学専攻	2	10	—	20	修士 (法学)	0.35	昭和51 年度	同上	
経営学研究科									
経営学専攻	2	10	—	20	修士 (経営学)	0.90	昭和47 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
ビジネス・会計 ファイナンス専攻	2	20	—	40	修士 (経営学)	1.00	平成18 年度	同上	
マーケティング専攻	2	10	—	20	修士 (マーケティング)	0.55	平成22 年度	同上	
理工学研究科									
生体医工学専攻	2	18	—	36	修士 (理工学)	0.63	平成26 年度	埼玉県川越市鯨井2100	
応用化学専攻	2	12	—	24	修士 (理工学)	0.87	平成26 年度	同上	
機能システム専攻	2	15	—	30	修士 (理工学)	0.70	平成26 年度	同上	
電気電子情報専攻	2	11	—	22	修士 (理工学)	0.67	平成26 年度	同上	

大 学 の 名 称	東 洋 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
都市環境デザイン専攻	2	8	—	16	修士 (工学)	0.68	平成26 年度	同上	平成26年度より学生募集停止
建築学専攻	2	14	—	28	修士 (工学)	0.85	平成26 年度	同上	
工学研究科									
機能システム専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度	埼玉県川越市鯨井2100	
バイオ・応用化学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度	同上	
環境・デザイン専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度	同上	
情報システム専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度	同上	
経済学研究科									
経済学専攻	2	10	—	20	修士 (経済学)	1.05	昭和51 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成26年度より学生募集停止
公民連携専攻	2	30	—	60	修士 (経済学)	0.65	平成18 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号 東京都千代田区 大手町2丁目2番1号	
国際学研究科									
国際地域学専攻	2	15	—	30	修士 (国際地域 学)	0.66	平成30 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際観光学研究科									
国際観光学専攻	2	15	—	30	修士 (国際観光 学)	0.53	平成30 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際地域学研究科									
国際地域学専攻	2	—	—	—	修士 (国際地域 学)	—	平成13 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成30年度より学生募集停止
国際観光学専攻	2	—	—	—	修士 (国際観光 学)	—	平成17 年度	同上	平成30年度より学生募集停止
生命科学研究科									
生命科学専攻	2	20	—	40	修士 (生命科 学)	1.27	平成13 年度	群馬県邑楽郡板倉町 泉野1丁目1番1号	
社会福祉学研究科									
社会福祉学専攻	2	20	—	40	修士(社会福 祉学)又は修 士(ソーシャ ルワーク)	0.85	平成30 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
ライフデザイン学研究科									
生活支援学専攻	2	10	—	20	修士(社会福 祉学)又は修 士(保育学)	0.70	平成30 年度	埼玉県朝霞市岡 48番1号	
健康スポーツ学専攻	2	10	—	20	修士(健康ス ポーツ学)	0.20	平成30 年度	同上	
人間環境デザイン専攻	2	10	—	20	修士(人間環 境デザイン 学)	0.10	平成30 年度	同上	

大 学 の 名 称	東 洋 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
福祉社会デザイン研究科									
社会福祉学専攻	2	—	—	—	修士(社会福祉学)又は修士(ソーシャルワーク)	—	平成18年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	平成30年度より学生募集停止
福祉社会システム専攻	2	—	—	—	修士(社会学)又は修士(社会福祉学)	—	平成18年度	同上	平成30年度より学生募集停止
ヒューマンデザイン専攻	2	—	—	—	修士(社会福祉学)又は修士(健康デザイン学)	—	平成18年度	埼玉県朝霞市岡48番1号	平成30年度より学生募集停止
人間環境デザイン専攻	2	—	—	—	修士(人間環境デザイン学)	—	平成21年度	同上	平成30年度より学生募集停止
学際・融合科学研究科									
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	2	12	—	24	修士(バイオ・ナノサイエンス融合)	0.45	平成23年度	埼玉県川越市鯉井2100	
総合情報学研究科									
総合情報学専攻	2	15	—	30	修士(情報学)	0.93	平成28年度	埼玉県川越市鯉井2100	
食環境科学研究科									
食環境科学専攻	2	10	—	20	修士(食環境科学)	0.95	平成28年度	群馬県邑楽郡板倉町泉野1丁目1番1号	
情報連携学研究科									
情報連携学専攻	2	20	—	40	修士(情報連携学)	0.15	平成29年度	東京都北区赤羽台1丁目7番11号	
大学院博士後期課程									
文学研究科									
哲学専攻	3	3	—	9	博士(文学)	0.22	昭和43年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
インド哲学仏教学専攻	3	3	—	9	博士(文学)	0.66	昭和29年度	同上	
日本文学文化専攻	3	3	—	9	博士(文学)	0.33	昭和29年度	同上	
中国哲学専攻	3	3	—	9	博士(文学)	0.22	平成11年度	同上	
英文学専攻	3	3	—	9	博士(文学)	0.33	昭和39年度	同上	
史学専攻	3	3	—	9	博士(文学)	0.33	平成11年度	同上	
教育学専攻	3	4	—	12	博士(教育学)	0.33	平成11年度	同上	
英語コミュニケーション専攻	3	5	—	15	博士(英語コミュニケーション)	0.13	平成19年度	同上	

大 学 の 名 称	東 洋 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
社会学研究科									
社会学専攻	3	3	—	9	博士 (社会学)	0.11	昭和34 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
社会心理学専攻	3	5	—	15	博士 (社会心理 学)	0.46	平成18 年度	同上	
法学研究科									
私法学専攻	3	5	—	15	博士 (法学)	0.13	昭和41 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
公法学専攻	3	5	—	15	博士 (法学)	0.20	平成12 年度	同上	
経営学研究科									
経営学専攻	3	5	—	15	博士(経営 学)	0.20	平成11 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
ビジネス・会計 ファイナンス専攻	3	5	—	15	博士(経営 学)または 博士(会 計・ファ イナンス)	0.40	平成22 年度	同上	
マーケティング専攻	3	3	—	9	博士 (マーケティング)	0.00	平成24 年度	同上	
理工学研究科				0					
生体医工学専攻	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.22	平成26 年度	埼玉県川越市鯨井2100	
応用化学専攻	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.11	平成26 年度	同上	
機能システム専攻	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.00	平成26 年度	同上	
電気電子情報専攻	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.33	平成26 年度	同上	
建築・都市デザイン専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.00	平成26 年度	同上	
工学研究科									
機能システム専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成17 年度	埼玉県川越市鯨井2100	平成26年度より学生募 集停止
バイオ・応用化学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成17 年度	同上	平成26年度より学生募 集停止
環境・デザイン専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成17 年度	同上	平成26年度より学生募 集停止
情報システム専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成17 年度	同上	平成26年度より学生募 集停止
経済学研究科									
経済学専攻	3	3	—	9	博士 (経済学)	0.55	昭和53 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際学研究科									
国際地域学専攻	3	5	—	15	博士 (国際地域 学)	0.40	平成30 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際観光学研究科									
国際観光学専攻	3	3	—	9	博士 (国際観光 学)	0.66	平成30 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	

大 学 の 名 称	東 洋 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
国際地域学研究科									
国際地域学専攻	3	—	—	—	博士 (国際地域学)	—	平成15年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	平成30年度より学生募集停止
国際観光学専攻	3	—	—	—	博士 (国際観光学)	—	平成23年度		平成30年度より学生募集停止
生命科学研究科									
生命科学専攻	3	4	—	12	博士 (生命科学)	0.50	平成15年度	群馬県邑楽郡板倉町泉野1丁目1番1号	
社会福祉学研究科									
社会福祉学専攻	3	5	—	15	博士(社会福祉学)又は博士(ソーシャルワーク)	1.00	平成30年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
ライフデザイン学研究科									
ヒューマンライフ学専攻	3	5	—	15	博士(社会福祉学)又は博士(健康スポーツ学)	1.00	平成30年度	埼玉県朝霞市岡48番1号	
人間環境デザイン専攻	3	4	—	12	博士(人間環境デザイン学)	0.00	平成30年度	同上	
福祉社会デザイン研究科									
社会福祉学専攻	3	—	—	—	博士(社会福祉学)又は博士(ソーシャルワーク)	—	平成18年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	平成30年度より学生募集停止
ヒューマンデザイン専攻	3	—	—	—	博士(社会福祉学)又は博士(健康デザイン学)	—	平成18年度	埼玉県朝霞市岡48番1号	平成30年度より学生募集停止
人間環境デザイン専攻	3	—	—	—	博士(人間環境デザイン学)	—	平成21年度	同上	平成30年度より学生募集停止
学際・融合科学研究科									
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	3	4	—	12	博士(バイオ・ナノサイエンス融合)	0.58	平成19年度	埼玉県川越市鯨井2100	
総合情報学研究科									
総合情報学専攻	3	3	—	9	博士(情報学)	2.66	平成30年度	埼玉県川越市鯨井2100	
食環境科学研究科									
食環境科学専攻	3	3	—	9	博士(食環境科学)	2.00	平成30年度	群馬県邑楽郡板倉町泉野1丁目1番1号	
文学部 第1部									
哲学科	4	100	—	400	学士(文学)	1.15	昭和24年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
東洋思想文化学科	4	100	—	400	学士(文学)	1.18	平成25年度	同上	
インド哲学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	昭和24年度	同上	平成25年度より学生募集停止

大 学 の 名 称	東 洋 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
中国哲学文学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和24 年度	同上	平成25年度より学生募集停止
日本文学文化学科	4	133	—	532	学士 (文学)	1.11	平成12 年度	同上	
英米文学科	4	133	—	532	学士 (文学)	1.11	昭和24 年度	同上	
英語コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	平成12 年度	同上	
史学科	4	133	—	532	学士 (文学)	1.03	昭和24 年度	同上	
教育学科						1.01	昭和39 年度	同上	
人間発達専攻	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.05	平成20 年度	同上	
初等教育専攻	4	50	—	200	学士 (教育学)	0.95	平成20 年度	同上	
国際文化コミュニケーション学科	4	100	—	400	学士 (文学)	1.19	平成29 年度	同上	
経済学部 第1部									平成29年度より学生募集停止
経済学科	4	250	—	1000	学士 (経済学)	1.10	昭和25 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際経済学科	4	183	—	732	学士 (経済学)	1.13	平成12 年度	同上	
総合政策学科	4	183	—	732	学士 (経済学)	1.12	平成12 年度	同上	
経営学部 第1部									
経営学科	4	316	—	1264	学士 (経営学)	1.09	昭和41 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
マーケティング学科	4	150	—	600	学士 (経営学)	1.14	昭和41 年度	同上	
会計ファイナンス学科	4	216	—	864	学士 (経営学)	1.09	平成18 年度	同上	
法学部 第1部									
法律学科	4	250	—	1000	学士 (法学)	1.11	昭和31 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
企業法学科	4	250	—	1000	学士 (法学)	1.13	昭和40 年度	同上	
社会学部 第1部									
社会学科	4	150	—	600	学士 (社会学)	1.11	昭和34 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
社会文化システム学科	4	150	—	600	学士 (社会学)	1.09	平成12 年度	同上	
メディアコミュニケーション学科	4	150	—	600	学士 (社会学)	1.13	平成12 年度	同上	
社会心理学科	4	150	—	600	学士 (社会学)	1.08	平成12 年度	同上	
社会福祉学科	4	150	—	600	学士 (社会学)	1.06	平成4 年度	同上	
理工学部									
機械工学科	4	180	—	720	学士 (理工学)	1.04	昭和36 年度	埼玉県川越市鯨井2100	
生体医工学科	4	113	—	452	学士 (理工学)	1.04	平成21 年度	同上	
電気電子情報工学科	4	113	—	452	学士 (理工学)	1.11	昭和36 年度	同上	

大 学 の 名 称	東 洋 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
応用化学科	4	146	—	584	学士 (理工学)	1.03	昭和36 年度	同上	
都市環境デザイン学科	4	113	—	452	学士 (工学)	1.06	昭和37 年度	同上	
建築学科	4	146	—	584	学士 (工学)	1.14	昭和37 年度	同上	
国際地域学部									
国際地域学科						—	平成9 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際地域専攻	4	—	—	—	学士 (国際地域学)	—	平成22 年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域総合専攻	4	—	—	—	学士 (国際地域学)	—	平成22 年度	同上	平成29年度より学生募集停止
国際観光学科	4	—	—	—	学士 (国際観光学)	—	平成13 年度	同上	平成29年度より学生募集停止
国際学部									
グローバル・イノベーション 学科	4	100	—	400	学士 (グローバル・ イノベーション 学)	0.99	平成29 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際地域学科						1.02	平成29 年度	同上	
国際地域専攻	4	210	—	840	学士 (国際地域学)	1.03	平成29 年度	同上	
地域総合専攻	4	80	—	320	学士 (国際地域学)	1.01	平成29 年度	同上	
国際観光学部									
国際観光学科	4	366	—	1464	学士 (国際観光学)	1.03	平成29 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
生命科学部									
生命科学科	4	113	—	452	学士 (生命科学)	1.01	平成9 年度	群馬県邑楽郡板倉町泉野1丁 目1番1号	
応用生物科学科	4	113	—	452	学士 (生命科学)	1.03	平成21 年度	同上	
食環境科学科	4	—	—	—	学士 (生命科学)	—	平成21 年度	同上	平成25年度より学生募集 集停止
ライフデザイン学部									
生活支援学科						1.07	平成17 年度	埼玉県朝霞市岡 48番1号	
生活支援学専攻	4	116	—	464	学士 (生活支援学)	1.13	平成21 年度	同上	
子ども支援学専攻	4	100	—	400	学士 (生活支援学)	1.00	平成21 年度	同上	
健康スポーツ学科	4	180	—	720	学士 (健康スポーツ学)	1.04	平成17 年度	同上	
人間環境デザイン学科	4	160	—	640	学士 (人間環境デザイン 学)	1.14	平成18 年度	同上	
総合情報学部									
総合情報学科	4	260	—	1040	学士 (情報学)	1.14	平成21 年度	埼玉県川越市鯉井2100	
食環境科学部									
食環境科学科						1.09	平成25 年度	群馬県邑楽郡板倉町泉野1丁 目1番1号	
フードサイエンス専攻	4	70	—	280	学士 (食環境科学)	1.07	平成25 年度	同上	
スポーツ・食品機能専攻	4	50	—	200	学士 (食環境科学)	1.12	平成25 年度	同上	
健康栄養学科	4	100	—	400	学士 (健康栄養学)	0.98	平成25 年度	同上	

大学 の 名 称	東 洋 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
情報連携学部									
情報連携学科	4	400	—	1600	学士 (情報連携学)	1.02	平成29 年度	東京都北区 赤羽台1丁目7番11号	
文学部 第2部									
東洋思想文化学科	4	30		120	学士 (文学)	1.13	平成25 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
インド哲学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和31 年度	同上	平成25年度より学生募 集停止
日本文学文化学科	4	50	—	200	学士 (文学)	1.15	昭和27 年度	同上	
教育学科	4	40	—	160	学士 (教育学)	1.05	昭和39 年度	同上	
経済学部 第2部									
経済学科	4	150	—	600	学士 (経済学)	1.07	昭和32 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
経営学部 第2部									
経営学科	4	110	—	440	学士 (経営学)	1.05	昭和41 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
法学部 第2部									
法律学科	4	120	—	480	学士 (法学)	1.05	昭和31 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
社会学部 第2部									
社会学科	4	130	—	520	学士 (社会学)	1.09	昭和34 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
社会福祉学科	4	45	3年次 10	200	学士 (社会学)	0.98	平成13 年度	同上	
通信教育部									
文学部						—			
日本文学文化学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和39 年度		平成30年度より学生募 集停止
法学部									
法律学科	4	—	—	—	学士 (法学)	—	昭和41 年度		平成30年度より学生募 集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表

<情報連携学部 情報連携学科>

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
		担当授業科目名
専	教授 学部長	坂村 健 (64) <平成29年4月> 情報連携学概論※ 情報連携エンジニアリング概論※ コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅰ 卒業研究
		中村 周吾 (47) <平成29年4月> 情報連携学概論※ 情報連携ビジネス概論※ データ・マイニング論 人工知能 ディープ・ラーニング ビックデータ解析 データ・サイエンス論Ⅰ データ・サイエンス論Ⅱ 情報連携ビジネス演習Ⅱ 情報連携ビジネス演習Ⅳ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	井村 亮 (64) <平成29年4月> 経営論Ⅲ ビジネス・インキュベーション論Ⅲ 情報連携ビジネス演習Ⅲ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
		花木 啓祐 (64) <平成29年4月> 情報連携学概論※ 社会資本経営 ライフラインマネジメント インフラ・サービス論Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
		担当授業科目名
専	教授 学部長	坂村 健 (65) <平成29年4月> 情報連携学概論※ 情報連携エンジニアリング概論※ コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅰ 卒業研究
		中村 周吾 (48) <平成29年4月> 情報連携学概論※ 情報連携ビジネス概論※ データ・マイニング論 人工知能 ディープ・ラーニング ビックデータ解析 データ・サイエンス論Ⅰ データ・サイエンス論Ⅱ 情報連携ビジネス演習Ⅱ 情報連携ビジネス演習Ⅳ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 卒業研究 コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ
専	教授	井村 亮 (65) <平成29年4月> 経営論Ⅲ ビジネス・インキュベーション論Ⅲ 情報連携ビジネス演習Ⅲ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携ビジネス概論※
		花木 啓祐 (65) <平成29年4月> 情報連携学概論※ 社会資本経営 ライフラインマネジメント インフラ・サービス論Ⅰ 卒業研究 情報連携シビルシステム概論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
		担当授業科目名
専	教授 学部長	坂村 健 (66) <平成29年4月> 情報連携学概論※ 情報連携エンジニアリング概論※ コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅰ 卒業研究
		中村 周吾 (49) <平成29年4月> 情報連携学概論※ 情報連携ビジネス概論※ データ・マイニング論 人工知能 ディープ・ラーニング ビックデータ解析 データ・サイエンス論Ⅰ データ・サイエンス論Ⅱ 情報連携ビジネス演習ⅡA 情報連携ビジネス演習ⅡB 情報連携ビジネス演習Ⅳ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 卒業研究 コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ 情報連携実習ⅡA 情報連携実習ⅡB 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ
専	教授	井村 亮 (66) <平成29年4月> 経営論Ⅲ ビジネス・インキュベーション論Ⅲ 情報連携ビジネス演習Ⅲ 情報連携実習ⅡA 情報連携実習ⅡB 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携ビジネス概論※ 経営論Ⅰ 経営論Ⅱ
		花木 啓祐 (66) <平成29年4月> 情報連携学概論※ 社会資本経営 ライフラインマネジメント インフラ・サービス論Ⅰ 卒業研究 情報連携シビルシステム概論※ 情報連携実習ⅡA 情報連携実習ⅡB

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	土屋 雅義 (62) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ支援設計Ⅰ※ デザイン理論Ⅱ 工業デザイン※ デジタル・デザイン論Ⅳ 情報連携デザイン演習Ⅰ 情報連携デザイン演習Ⅲ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	横田 達也 (60) ＜平成29年 4 月＞
		地理情報システム クオリティ・オブ・ライフ論Ⅱ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	益田 安良 (58) ＜平成30年 4 月＞
		ミクロ経済学 マクロ経済学 国際経済学(貿易・開発) 国際経済学(金融・通貨) 金融市場と構造 企業金融と金融健全性
兼任	講師	益田 安良 (58) ＜平成29年 4 月＞
		ミクロ経済学 マクロ経済学 国際経済学(貿易・開発) 国際経済学(金融・通貨) 金融市場と構造 企業金融と金融健全性
専	教授	中村 光宏 (58) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携学概論※ 情報連携デザイン概論※ コンピュータ支援設計Ⅰ※ デザイン理論Ⅲ コンピュータ支援設計Ⅱ 工業デザイン※ デジタル・デザイン論Ⅱ デジタル・デザイン論Ⅲ 情報連携デザイン演習Ⅰ 情報連携デザイン演習Ⅲ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	土屋 雅義 (63) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ支援設計Ⅰ※ デザイン理論Ⅱ 工業デザイン※ デジタル・デザイン論Ⅳ 情報連携デザイン演習Ⅰ 情報連携デザイン演習Ⅲ 情報連携実習Ⅰ A 情報連携実習Ⅰ B 情報連携実習Ⅲ 卒業研究 情報連携デザイン概論※
専	教授	横田 達也 (61) ＜平成29年 4 月＞
		地理情報システム クオリティ・オブ・ライフ論Ⅱ 情報連携実習Ⅰ A 情報連携実習Ⅰ B 情報連携実習Ⅲ 卒業研究 情報連携シビルシステム概論※
専	教授	益田 安良 (59) ＜平成30年 4 月＞
		ミクロ経済学 マクロ経済学 国際経済学(貿易・開発) 国際経済学(金融・通貨) 金融市場と構造 企業金融と金融健全性
兼任	講師	益田 安良 (59) ＜平成29年 4 月＞
		ミクロ経済学 マクロ経済学 国際経済学(貿易・開発) 国際経済学(金融・通貨) 金融市場と構造 企業金融と金融健全性
専	教授	中村 光宏 (59) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携学概論※ 情報連携デザイン概論※ コンピュータ支援設計Ⅰ※ デザイン理論Ⅲ コンピュータ支援設計Ⅱ 工業デザイン※ デジタル・デザイン論Ⅱ デジタル・デザイン論Ⅲ 情報連携デザイン演習Ⅰ 情報連携デザイン演習Ⅲ 情報連携実習Ⅰ A 情報連携実習Ⅰ B 情報連携実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	土屋 雅義 (64) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ支援設計Ⅰ※ デザイン理論Ⅱ 工業デザイン※ デジタル・デザイン論Ⅳ 情報連携デザイン演習Ⅰ A 情報連携デザイン演習Ⅰ B 情報連携デザイン演習Ⅲ 情報連携実習Ⅰ A 情報連携実習Ⅰ B 情報連携実習Ⅲ 卒業研究 情報連携デザイン概論※ デザイン理論Ⅰ 情報連携実習Ⅱ A 情報連携実習Ⅱ B
専	教授	横田 達也 (62) ＜平成29年 4 月＞
		地理情報システム クオリティ・オブ・ライフ論Ⅱ 情報連携実習Ⅰ A 情報連携実習Ⅰ B 情報連携実習Ⅲ 卒業研究 情報連携シビルシステム概論※ 情報連携実習Ⅱ A 情報連携実習Ⅱ B
専	教授	益田 安良 (60) ＜平成30年 4 月＞
		ミクロ経済学 マクロ経済学 国際経済学(貿易・開発) 国際経済学(金融・通貨) 金融市場と構造 企業金融と金融健全性
専	教授	中村 光宏 (60) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携学概論※ 情報連携デザイン概論※ コンピュータ支援設計Ⅰ※ デザイン理論Ⅲ コンピュータ支援設計Ⅱ 工業デザイン※ デジタル・デザイン論Ⅱ デジタル・デザイン論Ⅲ 情報連携デザイン演習Ⅰ A 情報連携デザイン演習Ⅰ B 情報連携デザイン演習Ⅲ 情報連携実習Ⅰ A 情報連携実習Ⅰ B 情報連携実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	清水 徹 (57) ＜平成30年 4 月＞
		コンピュータ・アーキテクチャ オペレーティング・システム コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅳ 情報連携エンジニアリング演習Ⅲ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	教授	棕 計人 (55) ＜平成30年 4 月＞
		デザイン理論Ⅰ コンピュータ支援設計Ⅰ※ 工業デザイン※ デジタル・デザイン論Ⅰ 情報連携デザイン演習Ⅰ 情報連携デザイン演習Ⅲ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	教授	神場 知成 (54) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携学概論※ 情報連携デザイン概論※ ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅠ WEBデザインⅠ WEBデザインⅡ ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅲ 情報連携デザイン演習Ⅱ 情報連携デザイン演習Ⅳ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	教授	小笠原 武史 (50) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータシステム概論Ⅰ コンピュータシステム概論Ⅱ ソフトウェア開発概論Ⅰ ソフトウェア開発概論Ⅱ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	曾根 真理 (50) ＜平成29年 4 月＞
		インフラマネジメント インフラ・サービス論Ⅱ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	清水 徹 (58) ＜平成30年 4 月＞
		コンピュータ・アーキテクチャ オペレーティング・システム コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅳ 情報連携エンジニアリング演習Ⅲ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	教授	棕 計人 (56) ＜平成30年 4 月＞
		デザイン理論Ⅰ コンピュータ支援設計Ⅰ※ 工業デザイン※ デジタル・デザイン論Ⅰ 情報連携デザイン演習Ⅰ 情報連携デザイン演習Ⅲ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	教授	神場 知成 (55) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携学概論※ 情報連携デザイン概論※ ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅠ WEBデザインⅠ WEBデザインⅡ ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅲ 情報連携デザイン演習Ⅱ 情報連携デザイン演習Ⅳ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ社会概論 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB
専	教授	小笠原 武史 (51) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ コンピュータ・サイエンス概論Ⅲ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 卒業研究 情報連携エンジニアリング概論※ プログラミング言語Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携実習ⅡA
専	教授	曾根 真理 (51) ＜平成29年 4 月＞
		インフラマネジメント インフラ・サービス論Ⅱ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 情報連携シビルシステム概論※ 情報連携実習ⅠA

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	清水 徹 (59) ＜平成30年 4 月＞
		コンピュータ・アーキテクチャ オペレーティング・システム コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅳ 情報連携エンジニアリング演習Ⅲ 情報連携実習ⅡB 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ 情報連携エンジニアリング概論※
専	教授	棕 計人 (57) ＜平成30年 4 月＞
		デザイン理論Ⅰ コンピュータ支援設計Ⅰ※ 工業デザイン※ デジタル・デザイン論Ⅰ 情報連携デザイン演習ⅠA 情報連携デザイン演習ⅠB 情報連携デザイン演習ⅡA 情報連携デザイン演習ⅡB 情報連携デザイン演習Ⅲ 情報連携実習ⅡA 情報連携実習ⅡB 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB
専	教授	神場 知成 (56) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携学概論※ 情報連携デザイン概論※ ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅠ WEBデザインⅠ WEBデザインⅡ ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅲ 情報連携デザイン演習ⅡA 情報連携デザイン演習ⅡB 情報連携デザイン演習Ⅳ 情報連携実習ⅡA 情報連携実習ⅡB 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ社会概論 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB
専	教授	小笠原 武史 (52) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 卒業研究 情報連携エンジニアリング概論※ プログラミング言語Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携実習ⅡA
専	教授	曾根 真理 (52) ＜平成29年 4 月＞
		インフラマネジメント インフラ・サービス論Ⅱ 情報連携実習ⅡA 情報連携実習ⅡB 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 情報連携シビルシステム概論※ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 朗子 (49) ＜平成30年4月＞
		建築デザイン インフラ・サービス論Ⅲ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	教授	後藤 尚弘 (50) ＜平成29年4月＞
		情報連携学概論※ 情報連携シビルシステム概論 産業エコロジー ユビキタスネットワークと生活 クオリティ・オブ・ライフ論Ⅰ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	教授	川原 亮一 (49) ＜平成30年4月＞
		コンピュータ・ネットワークⅠ ソフトウェア・エンジニアリング コンピュータ・ネットワーク論Ⅲ コンピュータ・ネットワーク論Ⅳ 情報連携エンジニアリング演習Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅳ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	教授	廣瀬 弥生 (47) ＜平成31年4月＞
		経営論Ⅰ 経営論Ⅱ ビジネス・インキュベーション論Ⅱ 情報連携ビジネス演習Ⅳ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究
兼任	講師	廣瀬 弥生 (47) ＜平成30年4月＞
		経営論Ⅰ 経営論Ⅱ
専	教授	富田 亜紀 (48) ＜平成29年4月＞
		情報連携学概論※ 情報連携ビジネス概論※ コンピュータ社会概論 会計論Ⅰ 会計論Ⅱ ビジネス・インキュベーション論Ⅰ 情報連携ビジネス演習Ⅰ 情報連携ビジネス演習Ⅲ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 朗子 (50) ＜平成30年4月＞
		建築デザイン インフラ・サービス論Ⅲ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	教授	後藤 尚弘 (51) ＜平成29年4月＞
		情報連携学概論※ 情報連携シビルシステム概論 産業エコロジー ユビキタスネットワークと生活 クオリティ・オブ・ライフ論Ⅰ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB
専	教授	川原 亮一 (50) ＜平成30年4月＞
		コンピュータ・ネットワークⅠ ソフトウェア・エンジニアリング コンピュータ・ネットワーク論Ⅲ コンピュータ・ネットワーク論Ⅳ 情報連携エンジニアリング演習Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅳ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	教授	廣瀬 弥生 (48) ＜平成31年4月＞
		経営論Ⅰ 経営論Ⅱ ビジネス・インキュベーション論Ⅱ 情報連携ビジネス演習Ⅳ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究
兼任	講師	廣瀬 弥生 (48) ＜平成30年4月＞
		経営論Ⅰ 経営論Ⅱ
専	教授	富田 亜紀 (49) ＜平成29年4月＞
		情報連携学概論※ 情報連携ビジネス概論※ コンピュータ社会概論 会計論Ⅰ 会計論Ⅱ ビジネス・インキュベーション論Ⅰ 情報連携ビジネス演習Ⅰ 情報連携ビジネス演習Ⅲ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 卒業研究 コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 朗子 (51) ＜平成30年4月＞
		建築デザイン インフラ・サービス論Ⅲ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 情報連携シビルシステム概論※ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB
専	教授	後藤 尚弘 (52) ＜平成29年4月＞
		情報連携学概論※ 情報連携シビルシステム概論 産業エコロジー ユビキタスネットワークと生活 クオリティ・オブ・ライフ論Ⅰ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB
専	教授	川原 亮一 (51) ＜平成30年4月＞
		コンピュータ・ネットワークⅠ ソフトウェア・エンジニアリング コンピュータ・ネットワーク論Ⅲ コンピュータ・ネットワーク論Ⅳ 情報連携エンジニアリング演習ⅠA 情報連携エンジニアリング演習ⅠB 情報連携エンジニアリング演習Ⅳ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携エンジニアリング概論※
専	教授	廣瀬 弥生 (49) ＜平成31年4月＞
		経営論Ⅰ 経営論Ⅱ ビジネス・インキュベーション論Ⅱ 情報連携ビジネス演習Ⅳ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究
兼任	講師	廣瀬 弥生 (49) ＜平成30年4月＞
		経営論Ⅰ 経営論Ⅱ
専	教授	富田 亜紀 (50) ＜平成29年4月＞
		情報連携学概論※ 情報連携ビジネス概論※ コンピュータ社会概論 会計論Ⅰ 会計論Ⅱ ビジネス・インキュベーション論Ⅰ 情報連携ビジネス演習ⅠA 情報連携ビジネス演習ⅠB 情報連携ビジネス演習Ⅲ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 卒業研究 コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	石川 徹 (45) ＜平成31年 4 月＞
		ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅡ ユーザ・エクスペリエンス評価 ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅳ 情報連携デザイン演習Ⅳ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究
兼任	講師	石川 徹 (45) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携のための確率・統計学A 情報連携のための確率・統計学B ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅡ
専	教授	吉越 健治 (42) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携学概論※ 情報連携エンジニアリング概論※ コンピュータ・ネットワークⅡ データベース コンピュータ・システム コンピュータ・ネットワーク論Ⅰ コンピュータ・ネットワーク論Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅳ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅳ 卒業研究
専	准教授	川本 清美 (44) ＜平成29年 4 月＞
		環境科学と政策 エネルギーと環境インフラ クオリティ・オブ・ライフ論Ⅲ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	加知 範康 (41) ＜平成30年 4 月＞
		都市・地域マネジメント 交通と情報マネジメント インフラ・リバーシブル論Ⅳ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	Rainer Schulzer (40) ＜平成30年 4 月＞
		井上円了と日本近代思想 哲学概論 異文化交渉論【隔年】 情報技術者の倫理【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	石川 徹 (46) ＜平成31年 4 月＞
		ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅡ ユーザ・エクスペリエンス評価 ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅳ 情報連携デザイン演習Ⅳ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究
兼任	講師	石川 徹 (46) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携のための確率・統計学A 情報連携のための確率・統計学B ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅡ
専	教授	吉越 健治 (43) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携学概論※ 情報連携エンジニアリング概論※ コンピュータ・ネットワークⅡ データベース コンピュータ・システム コンピュータ・ネットワーク論Ⅰ コンピュータ・ネットワーク論Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅳ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ コンピュータ社会概論 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ
専	准教授	川本 清美 (45) ＜平成29年 4 月＞
		環境科学と政策 エネルギーと環境インフラ クオリティ・オブ・ライフ論Ⅲ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ 情報連携シビルシステム概論※
専	准教授	加知 範康 (42) ＜平成30年 4 月＞
		都市・地域マネジメント 交通と情報マネジメント インフラ・リバーシブル論Ⅳ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	Rainer Schulzer (41) ＜平成30年 4 月＞
		井上円了と日本近代思想 哲学概論 異文化交渉論【隔年】 情報技術者の倫理【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	石川 徹 (47) ＜平成31年 4 月＞
		ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅡ ユーザ・エクスペリエンス評価 ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅳ 情報連携デザイン演習Ⅳ 情報連携実習Ⅲ 卒業研究
兼任	講師	石川 徹 (47) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携のための確率・統計学A 情報連携のための確率・統計学B ユーザ・エクスペリエンス・デザインⅡ
専	教授	吉越 健治 (44) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携学概論※ 情報連携エンジニアリング概論※ コンピュータ・ネットワークⅡ データベース コンピュータ・システム コンピュータ・ネットワーク論Ⅰ コンピュータ・ネットワーク論Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習ⅡA 情報連携エンジニアリング演習ⅡB 情報連携エンジニアリング演習Ⅳ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅳ 卒業研究 コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ コンピュータ社会概論 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ コンピュータ・ネットワークⅠ 情報連携実習ⅡA
専	准教授	川本 清美 (46) ＜平成29年 4 月＞
		環境科学と政策 エネルギーと環境インフラ クオリティ・オブ・ライフ論Ⅲ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ 情報連携シビルシステム概論※ 情報連携実習ⅡA 情報連携実習ⅡB
専	准教授	加知 範康 (43) ＜平成30年 4 月＞
		都市・地域マネジメント 交通と情報マネジメント インフラ・サービス論Ⅳ 情報連携実習ⅡA 情報連携実習ⅡB 情報連携実習Ⅳ 情報連携シビルシステム概論※ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB
専	准教授	Rainer Schulzer (42) ＜平成30年 4 月＞
		井上円了と日本近代思想 哲学概論 異文化交渉論【隔年】 情報技術者の倫理【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	本多 泰理 (38) ＜平成30年 4 月＞
		情報連携のための確率・統計学A 情報連携のための確率・統計学B 統計とデータ分析Ⅰ 統計とデータ分析Ⅱ データ・サイエンス論Ⅲ データ・サイエンス論Ⅳ 情報連携ビジネス演習Ⅳ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	平松（高山）あい (39) ＜平成29年 4 月＞
		持続可能社会と情報マネジメント クオリティ・オブ・ライフ論Ⅳ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	河井 穂子 (38) ＜平成30年 4 月＞
		コンピュータ社会概論 知的財産権論 ビジネス・インキュベーション論Ⅳ 情報連携ビジネス演習Ⅲ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	石川 知一 (35) ＜平成30年 4 月＞
		情報連携のための数学A 情報連携のための数学B コンピュータ・グラフィクス ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅰ ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅱ 情報連携デザイン演習Ⅱ 情報連携デザイン演習Ⅳ 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ
兼任	講師	石川 知一 (35) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携のための数学A 情報連携のための数学B
専	准教授	別所 正博 (35) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータシステム概論Ⅰ コンピュータシステム概論Ⅱ ソフトウェア開発概論Ⅰ ソフトウェア開発概論Ⅱ アルゴリズムとデータ構造Ⅰ アルゴリズムとデータ構造Ⅱ コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ 情報連携エンジニアリング演習Ⅲ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	本多 泰理 (39) ＜平成30年 4 月＞
		情報連携のための確率・統計学A 情報連携のための確率・統計学B 統計とデータ分析Ⅰ 統計とデータ分析Ⅱ データ・サイエンス論Ⅲ データ・サイエンス論Ⅳ 情報連携ビジネス演習Ⅳ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	平松（高山）あい (40) ＜平成31年 4 月＞
		持続可能社会と情報マネジメント クオリティ・オブ・ライフ論Ⅳ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	河井 穂子 (39) ＜平成30年 4 月＞
		コンピュータ社会概論 知的財産権論 ビジネス・インキュベーション論Ⅳ 情報連携ビジネス演習Ⅲ 情報連携実習Ⅱ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	石川 知一 (36) ＜平成30年 4 月＞
		情報連携のための数学A 情報連携のための数学B コンピュータ・グラフィクス ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅰ ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅱ 情報連携デザイン演習Ⅱ 情報連携デザイン演習Ⅳ 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ
兼任	講師	石川 知一 (36) ＜平成29年 4 月＞
		情報連携のための数学A 情報連携のための数学B
専	准教授	別所 正博 (36) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ アルゴリズムとデータ構造Ⅰ アルゴリズムとデータ構造Ⅱ コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ 情報連携エンジニアリング演習Ⅲ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ 情報連携エンジニアリング概論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	本多 泰理 (40) ＜平成30年 4 月＞
		情報連携のための確率・統計学A 情報連携のための確率・統計学B 統計とデータ分析Ⅰ 統計とデータ分析Ⅱ データ・サイエンス論Ⅲ データ・サイエンス論Ⅳ 情報連携ビジネス演習Ⅳ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅳ 情報連携ビジネス概論※
専	准教授	平松（高山）あい (41) ＜平成31年 4 月＞
		持続可能社会と情報マネジメント クオリティ・オブ・ライフ論Ⅳ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	河井 穂子 (40) ＜平成30年 4 月＞
		コンピュータ社会概論 知的財産権論 ビジネス・インキュベーション論Ⅳ 情報連携ビジネス演習Ⅲ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅳ 経営論Ⅰ 情報連携ビジネス概論※ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB
専	准教授	石川 知一 (37) ＜平成30年 4 月＞
		情報連携のための数学A 情報連携のための数学B コンピュータ・グラフィクス ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅰ ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論Ⅱ 情報連携デザイン演習ⅠA 情報連携デザイン演習ⅠB 情報連携デザイン演習Ⅳ 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ
専	准教授	別所 正博 (37) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ アルゴリズムとデータ構造Ⅰ アルゴリズムとデータ構造Ⅱ コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ 情報連携エンジニアリング演習Ⅲ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ 情報連携エンジニアリング概論※ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	矢代 武嗣 (33) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータシステム概論Ⅰ コンピュータシステム概論Ⅱ ソフトウェア開発概論Ⅰ ソフトウェア開発概論Ⅱ プログラミング言語Ⅰ プログラミング言語Ⅱ コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅲ 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ 情報連携エンジニアリング演習Ⅳ 情報連携実習Ⅰ 情報連携実習Ⅲ
専	准教授	Khan M. Fahim Ferdous (32) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータシステム概論Ⅰ コンピュータシステム概論Ⅱ ソフトウェア開発概論Ⅰ ソフトウェア開発概論Ⅱ 情報数学 情報連携基礎演習 情報連携エンジニアリング演習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ
専	講師	Jason Richard Byrne (46) ＜平成29年 4 月＞
		リスニング・スピーキング演習Ⅰ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅱ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅲ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅳ (英語)
専	講師	Jennifer Marie Toews-Shimizu (40) ＜平成29年 4 月＞
		リスニング・スピーキング演習Ⅰ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅱ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅲ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅳ (英語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	矢代 武嗣 (34) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ プログラミング言語Ⅰ プログラミング言語Ⅱ コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅲ 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ 情報連携エンジニアリング演習Ⅳ 情報連携実習Ⅰ A 情報連携実習Ⅰ B 情報連携実習Ⅲ 情報連携エンジニアリング概論※
専	准教授	Khan M. Fahim Ferdous (33) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ 情報数学 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ コンピュータ社会概論 情報連携実習Ⅰ A 情報連携実習Ⅰ B
専	講師	Jason Richard Byrne (47) ＜平成29年 4 月＞
		リスニング・スピーキング演習Ⅰ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅱ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅲ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅳ (英語) リーディング・ライティング演習Ⅰ (英語)
専	講師	Jennifer Marie Toews-Shimizu (41) ＜平成29年 4 月＞
		リスニング・スピーキング演習Ⅰ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅱ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅲ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅳ (英語) リーディング・ライティング演習Ⅰ (英語) リーディング・ライティング演習Ⅱ (英語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	矢代 武嗣 (35) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ プログラミング言語Ⅰ プログラミング言語Ⅱ コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅲ 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ A 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ B 情報連携エンジニアリング演習Ⅳ 情報連携実習Ⅰ A 情報連携実習Ⅰ B 情報連携実習Ⅲ 情報連携エンジニアリング概論※ オペレーティング・システム 情報連携実習Ⅱ A
専	准教授	Khan M. Fahim Ferdous (34) ＜平成29年 4 月＞
		コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ 情報数学 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅲ 情報連携実習Ⅳ コンピュータ社会概論 情報連携実習Ⅰ A 情報連携実習Ⅰ B 情報連携エンジニアリング概論※ 情報連携実習Ⅱ B
専	准教授	Jason Richard Byrne (48) ＜平成29年 4 月＞
		リスニング・スピーキング演習Ⅰ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅱ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅲ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅳ (英語) リーディング・ライティング演習Ⅰ (英語) リーディング・ライティング演習Ⅱ (英語) リーディング・ライティング演習Ⅲ (英語) リーディング・ライティング演習Ⅳ (英語)
専	講師	Jennifer Marie Toews-Shimizu (42) ＜平成29年 4 月＞
		リスニング・スピーキング演習Ⅰ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅱ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅲ (英語) リスニング・スピーキング演習Ⅳ (英語) リーディング・ライティング演習Ⅰ (英語) リーディング・ライティング演習Ⅱ (英語)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	講師	古藪（吉田）麻里子 (39) ＜平成29年4月＞
		リーディング・ライティング演習 I（英語） リーディング・ライティング演習 II（英語） リーディング・ライティング演習 III（英語） リーディング・ライティング演習 IV（英語）
専	講師	越智 健太郎 (33) ＜平成29年4月＞
		リーディング・ライティング演習 I（英語） リーディング・ライティング演習 II（英語） リーディング・ライティング演習 III（英語） リーディング・ライティング演習 IV（英語）
専	講師	Jeffry Matthew Moore (31) ＜平成29年4月＞
		リスニング・スピーキング演習 I (英語) リスニング・スピーキング演習 II (英語) リスニング・スピーキング演習 III (英語) リスニング・スピーキング演習 IV (英語) リーディング・ライティング演習 III（英語） リーディング・ライティング演習 IV（英語）
専	助教	西川 尚紀 (35) ＜平成30年4月＞
		情報連携基礎演習 情報連携ビジネス演習 I
専	助教	温 文 (34) ＜平成30年4月＞
		情報連携ビジネス演習 II 情報連携エンジニアリング演習 I 情報連携エンジニアリング演習 II 情報連携デザイン演習 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	講師	古藪（吉田）麻里子 (40) ＜平成29年4月＞
		リーディング・ライティング演習 I（英語） リーディング・ライティング演習 II（英語） リーディング・ライティング演習 III（英語） リーディング・ライティング演習 IV（英語） リスニング・スピーキング演習 I (英語) リスニング・スピーキング演習 II (英語)
専	講師	越智 健太郎 (34) ＜平成29年4月＞
		リーディング・ライティング演習 I（英語） リーディング・ライティング演習 II（英語） リーディング・ライティング演習 III（英語） リーディング・ライティング演習 IV（英語） リスニング・スピーキング演習 I (英語) リスニング・スピーキング演習 II (英語)
専	講師	Jeffry Matthew Moore (32) ＜平成29年4月＞
		リスニング・スピーキング演習 I (英語) リスニング・スピーキング演習 II (英語) リスニング・スピーキング演習 III (英語) リスニング・スピーキング演習 IV (英語) リーディング・ライティング演習 III（英語） リーディング・ライティング演習 IV（英語） リーディング・ライティング演習 I（英語） リーディング・ライティング演習 II（英語）
専	助教	西川 尚紀 (36) ＜平成30年4月＞
		情報連携基礎演習 I 情報連携基礎演習 II 情報連携ビジネス演習 I
専	助教	温 文 (35) ＜平成30年4月＞
		情報連携ビジネス演習 II 情報連携エンジニアリング演習 I 情報連携エンジニアリング演習 II 情報連携デザイン演習 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	講師	古藪（吉田）麻里子 (41) ＜平成29年4月＞
		リーディング・ライティング演習 I（英語） リーディング・ライティング演習 II（英語） リーディング・ライティング演習 III（英語） リーディング・ライティング演習 IV（英語） リスニング・スピーキング演習 I (英語) リスニング・スピーキング演習 II (英語) リスニング・スピーキング演習 III (英語) リスニング・スピーキング演習 IV (英語)
専	講師	越智 健太郎 (35) ＜平成29年4月＞
		リーディング・ライティング演習 I（英語） リーディング・ライティング演習 II（英語） リーディング・ライティング演習 III（英語） リーディング・ライティング演習 IV（英語） リスニング・スピーキング演習 I (英語) リスニング・スピーキング演習 II (英語)
専	講師	Jeffry Matthew Moore (33) ＜平成29年4月＞
		リスニング・スピーキング演習 I (英語) リスニング・スピーキング演習 II (英語) リスニング・スピーキング演習 III (英語) リスニング・スピーキング演習 IV (英語) リーディング・ライティング演習 III（英語） リーディング・ライティング演習 IV（英語） リーディング・ライティング演習 I（英語） リーディング・ライティング演習 II（英語）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	楽 奕平 (33) ＜平成30年4月＞
		情報連携シビルシステム演習Ⅰ 情報連携シビルシステム演習Ⅱ 情報連携シビルシステム演習Ⅳ 情報連携実習Ⅳ
専	助教	浦 剣 (33) ＜平成29年4月＞
		情報連携シビルシステム演習Ⅰ 情報連携シビルシステム演習Ⅲ 情報連携シビルシステム演習Ⅳ 情報連携実習Ⅰ
専	助教	趙 晟恩 (33) ＜平成29年4月＞
		情報連携シビルシステム演習Ⅱ 情報連携シビルシステム演習Ⅲ 情報連携シビルシステム演習Ⅳ 情報連携実習Ⅱ
専	助教	青木 えり (29) ＜平成30年4月＞
		情報連携シビルシステム演習Ⅰ 情報連携シビルシステム演習Ⅱ 情報連携シビルシステム演習Ⅲ 情報連携実習Ⅲ
専	助教	浅野 智之 (30) ＜平成29年4月＞
		情報連携基礎演習 情報連携ビジネス演習Ⅰ
専	助教	金 智恩 (28) ＜平成29年4月＞
		情報連携基礎演習 情報連携ビジネス演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	楽 奕平 (34) ＜平成29年4月＞
		情報連携シビルシステム演習Ⅰ 情報連携シビルシステム演習Ⅱ 情報連携シビルシステム演習Ⅳ 情報連携実習Ⅳ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ
専	助教	浦 剣 (34) ＜平成29年4月＞
		情報連携シビルシステム演習Ⅰ 情報連携シビルシステム演習Ⅲ 情報連携シビルシステム演習Ⅳ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ
専	助教	趙 晟恩 (34) ＜平成29年4月＞
		情報連携シビルシステム演習Ⅱ 情報連携シビルシステム演習Ⅲ 情報連携シビルシステム演習Ⅳ 情報連携実習Ⅱ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ
専	助教	青木 えり (30) ＜平成30年4月＞
		情報連携シビルシステム演習Ⅰ 情報連携シビルシステム演習Ⅱ 情報連携シビルシステム演習Ⅲ 情報連携実習Ⅲ
専	助教	浅野 智之 (31) ＜平成29年4月＞
		情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携ビジネス演習Ⅰ
専	助教	金 智恩 (29) ＜平成29年4月＞
		情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携ビジネス演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	楽 奕平 (35) ＜平成29年4月＞
		情報連携シビルシステム演習ⅠA 情報連携シビルシステム演習ⅠB 情報連携シビルシステム演習Ⅳ 情報連携実習Ⅳ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携シビルシステム演習ⅡA 情報連携シビルシステム演習ⅡB
専	助教	浦 剣 (35) ＜平成29年4月＞
		情報連携シビルシステム演習ⅠA 情報連携シビルシステム演習ⅠB 情報連携シビルシステム演習Ⅲ 情報連携シビルシステム演習Ⅳ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携シビルシステム演習ⅡA 情報連携シビルシステム演習ⅡB
専	助教	趙 晟恩 (35) ＜平成29年4月＞
		情報連携シビルシステム演習ⅡA 情報連携シビルシステム演習ⅡB 情報連携シビルシステム演習Ⅲ 情報連携シビルシステム演習Ⅳ 情報連携実習ⅡA 情報連携実習ⅡB 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB 情報連携シビルシステム演習ⅠA 情報連携シビルシステム演習ⅠB
専	助教	青木 えり (31) ＜平成30年4月＞
		情報連携シビルシステム演習ⅠA 情報連携シビルシステム演習ⅠB 情報連携シビルシステム演習ⅡA 情報連携シビルシステム演習ⅡB 情報連携シビルシステム演習Ⅲ 情報連携実習Ⅲ 情報連携実習ⅠA 情報連携実習ⅠB
専	助教	浅野 智之 (32) ＜平成29年4月＞
		情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携ビジネス演習ⅠA 情報連携ビジネス演習ⅠB 情報連携エンジニアリング演習ⅠA 情報連携エンジニアリング演習ⅠB 情報連携エンジニアリング演習ⅡA
専	助教	金 智恩 (30) ＜平成29年4月＞
		情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携ビジネス演習ⅡA 情報連携ビジネス演習ⅡB 情報連携エンジニアリング演習ⅠA 情報連携エンジニアリング演習ⅠB 情報連携エンジニアリング演習ⅡA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	河本 英夫 (62) ＜平成29年 4 月＞ 全学総合ⅠA 全学総合ⅠB
兼任	教授	芦沢 真五 (58) ＜平成29年 4 月＞ 全学総合ⅠA
兼任	教授	朝倉 輝一 (57) ＜平成29年 4 月＞ 井上円了と日本近代思想 哲学概論 異文化交渉論【隔年】 情報技術者の倫理【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	曹 巍 (42) ＜平成29年 4 月＞ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ
専	助教	谷 智子 (33) ＜平成29年 4 月＞ リスニング・スピーキング演習Ⅰ (日本語) リスニング・スピーキング演習Ⅱ (日本語) リーディング・ライティング演習 Ⅰ (日本語) リーディング・ライティング演習 Ⅱ (日本語) 日本事情A 日本事情B
専	助教	青柳 西藏 (31) ＜平成29年 4 月＞ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ
専	助教	関根 晃太 (30) ＜平成29年 4 月＞ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ
兼任	教授	河本 英夫 (63) ＜平成29年 4 月＞ 全学総合ⅠA 全学総合ⅠB
兼任	教授	朝倉 輝一 (58) ＜平成29年 4 月＞ 井上円了と日本近代思想 哲学概論 異文化交渉論【隔年】 情報技術者の倫理【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	曹 巍 (43) ＜平成29年 4 月＞ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携ビジネス演習ⅡA 情報連携ビジネス演習ⅡB
専	助教	谷 智子 (34) ＜平成29年 4 月＞ リスニング・スピーキング演習Ⅰ (日本語) リスニング・スピーキング演習Ⅱ (日本語) リーディング・ライティング演習 Ⅰ (日本語) リーディング・ライティング演習 Ⅱ (日本語) 日本事情A 日本事情B
専	助教	青柳 西藏 (32) ＜平成29年 4 月＞ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ A 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ B 情報連携エンジニアリング演習Ⅱ A
専	助教	関根 晃太 (31) ＜平成29年 4 月＞ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ A 情報連携エンジニアリング演習Ⅰ B 情報連携エンジニアリング演習Ⅱ A
専	助教	朱 金暁 (31) ＜平成30年 4 月＞ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ
専	助教	黒田 佳織 (31) ＜平成30年 4 月＞ 情報連携基礎演習Ⅰ 情報連携基礎演習Ⅱ 情報連携ビジネス演習ⅡA 情報連携ビジネス演習ⅡB
兼任	教授	河本 英夫 (64) ＜平成29年 4 月＞ 全学総合ⅠA 全学総合ⅠB
兼任	教授	朝倉 輝一 (59) ＜平成29年 4 月＞ 井上円了と日本近代思想 哲学概論 異文化交渉論【隔年】 情報技術者の倫理【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	菊地 章太 (57) ＜平成29年4月＞
		全学総合ⅡA
兼任	教授	小林 正夫 (55) ＜平成29年9月＞
		全学総合ⅠB
兼任	教授	塩田 徹 (52) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	教授	清水 宏 (47) ＜平成29年4月＞
		情報と法※
兼任	教授	早川 和宏 (45) ＜平成29年4月＞
		情報と法※
兼任	准教授	小島 貴子 (57) ＜平成29年4月＞
		キャリアデベロップメント論A キャリアデベロップメント論B
兼任	准教授	金田 英子 (52) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡB
兼任	准教授	平井 伯昌 (52) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	准教授	安則 貴香 (45) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	菊地 章太 (58) ＜平成29年4月＞
		全学総合ⅡA
兼任	教授	塩田 徹 (53) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	教授	清水 宏 (48) ＜平成29年4月＞
		情報と法※
兼任	教授	早川 和宏 (46) ＜平成29年4月＞
		情報と法※
兼任	准教授	小島 貴子 (58) ＜平成29年4月＞
		キャリアデベロップメント論A キャリアデベロップメント論B
兼任	教授	平井 伯昌 (53) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	准教授	安則 貴香 (46) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	菊地 章太 (59) ＜平成29年4月＞
		全学総合ⅡA
兼任	教授	塩田 徹 (54) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	教授	清水 宏 (49) ＜平成29年4月＞
		情報と法※
兼任	教授	早川 和宏 (47) ＜平成29年4月＞
		情報と法※
兼任	准教授	小島 貴子 (59) ＜平成29年4月＞
		キャリアデベロップメント論A キャリアデベロップメント論B
兼任	教授	平井 伯昌 (54) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	准教授	安則 貴香 (47) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	西村 忍 (43) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学演習Ⅰ
兼任	准教授	角南 俊介 (41) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡB
兼任	准教授	関山 健 (40) ＜平成29年 9 月＞
		国際キャリア概論 留学のすすめ
兼任	准教授	一川 大輔 (39) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	准教授	谷釜 尋徳 (35) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡB 全学総合ⅡA 全学総合ⅡB
兼任	講師	Robert Morel (37) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes ⅠA Listening/Speaking English for Academic Purposes ⅠB Reading/Writing English for Academic Purposes ⅡA Listening/Speaking English for Academic Purposes ⅡB Reading/Writing
兼任	講師	Joel Laurier (48) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes ⅠA Listening/Speaking English for Academic Purposes ⅠB Reading/Writing English for Academic Purposes ⅡA Listening/Speaking English for Academic Purposes ⅡB Reading/Writing

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	西村 忍 (44) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学演習Ⅰ
兼任	准教授	角南 俊介 (42) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡB
兼任	准教授	一川 大輔 (40) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	教授	谷釜 尋徳 (36) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡB 全学総合ⅡA 全学総合ⅡB
兼任	講師	Robert Morel (38) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes ⅠA Listening/Speaking English for Academic Purposes ⅠB Reading/Writing English for Academic Purposes ⅡA Listening/Speaking English for Academic Purposes ⅡB Reading/Writing
兼任	講師	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	西村 忍 (45) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学演習Ⅰ
兼任	准教授	角南 俊介 (43) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡB
兼任	准教授	一川 大輔 (41) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	教授	谷釜 尋徳 (37) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡB 全学総合ⅡA 全学総合ⅡB
兼任	講師	Robert Morel (39) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes ⅠA Listening/Speaking English for Academic Purposes ⅠB Reading/Writing English for Academic Purposes ⅡA Listening/Speaking English for Academic Purposes ⅡB Reading/Writing Pre-Study Abroad College Study Skills Pre-Study Abroad Basic Academic Writing Pre-Study Abroad Academic Essay Writing
兼任	講師	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	Kia DeCou (45) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes I A Listening/Speaking English for Academic Purposes I B Reading/Writing English for Academic Purposes II A Listening/Speaking English for Academic Purposes II B Reading/Writing
兼任	講師	Ivan Botev (34) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes I A Listening/Speaking English for Academic Purposes I B Reading/Writing English for Academic Purposes II A Listening/Speaking English for Academic Purposes II B Reading/Writing
兼任	講師	山川 史 (39) ＜平成29年 4 月＞
		Integrated Japanese I Integrated Japanese II Japanese Listening Comprehension III Japanese Listening Comprehension IV Japanese Culture and Society A Japanese Culture and Society B
兼任	講師	花田 真吾 (35) ＜平成29年 4 月＞
		全学総合 I A 全学総合 I B 全学総合 II A 全学総合 II B
兼任	講師	田中 祐輔 (32) ＜平成29年 4 月＞
		Integrated Japanese III Integrated Japanese IV Japanese Reading and Composition III Japanese Reading and Composition IV Introduction to Japanology A Introduction to Japanology B
兼任	講師	Samantha Green (30) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes I A Listening/Speaking English for Academic Purposes I B Reading/Writing English for Academic Purposes II A Listening/Speaking English for Academic Purposes II B Reading/Writing Pre-Study Abroad College Study Skills Pre-Study Abroad Basic Academic Writing Pre-Study Abroad Academic Essay Writing
兼任	助教	伊藤 摂子 (47) ＜平成29年 4 月＞
		Business English Communication

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	Kia DeCou (46) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes I A Listening/Speaking English for Academic Purposes I B Reading/Writing English for Academic Purposes II A Listening/Speaking English for Academic Purposes II B Reading/Writing
兼任	講師	Ivan Botev (35) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes I A Listening/Speaking English for Academic Purposes I B Reading/Writing English for Academic Purposes II A Listening/Speaking English for Academic Purposes II B Reading/Writing
兼任	講師	山川 史 (40) ＜平成29年 4 月＞
		Integrated Japanese I Integrated Japanese II Japanese Listening Comprehension III Japanese Listening Comprehension IV Japanese Culture and Society A Japanese Culture and Society B
兼任	准教授	田中 祐輔 (33) ＜平成29年 4 月＞
		Integrated Japanese III Integrated Japanese IV Japanese Reading and Composition III Japanese Reading and Composition IV Introduction to Japanology A Introduction to Japanology B
兼任	講師	Samantha Green (31) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes I A Listening/Speaking English for Academic Purposes I B Reading/Writing English for Academic Purposes II A Listening/Speaking English for Academic Purposes II B Reading/Writing Pre-Study Abroad College Study Skills Pre-Study Abroad Basic Academic Writing Pre-Study Abroad Academic Essay Writing
兼任	助教	伊藤 摂子 (48) ＜平成29年 4 月＞
		Business English Communication

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	山川 史 (41) ＜平成29年 4 月＞
		Integrated Japanese I Integrated Japanese II Japanese Listening Comprehension III Japanese Listening Comprehension IV Japanese Culture and Society A Japanese Culture and Society B Integrated Japanese III Integrated Japanese IV

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 摂子 (47) ＜平成31年 4 月＞
		Business English Communication
兼任	講師	船山 久美 (59) ＜平成29年 4 月＞
		Kanji Literacy I Kanji Literacy II Project Work I Project Work II
兼任	講師	田代 浩二 (52) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	講師	松原 俊文 (49) ＜平成29年 4 月＞
		世界の歴史Ⅰ 世界の歴史Ⅱ
兼任	講師	番場 裕之 (49) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	講師	小池 康 (47) ＜平成29年 4 月＞
		Kanji Literacy III Kanji Literacy IV Project Work III Project Work IV

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 摂子 (48) ＜平成31年 4 月＞
		Business English Communication
兼任	准教授	小早川 裕子 (56) ＜平成29年 9 月＞
		国際キャリア概論 留学のすすめ
兼任	准教授	山崎 享子 (45) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学講義ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡB
兼任	講師	Wilson Matthew (44) ＜平成29年 4 月＞
		English for Academic Purposes ⅠA Listening/Speaking English for Academic Purposes ⅠB Reading/Writing English for Academic Purposes ⅡA Listening/Speaking English for Academic Purposes ⅡB Reading/Writing
兼任	講師	船山 久美 (60) ＜平成29年 4 月＞
		Kanji Literacy I Kanji Literacy II Project Work I Project Work II
兼任	講師	田代 浩二 (53) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	講師	松原 俊文 (50) ＜平成29年 4 月＞
		世界の歴史Ⅰ 世界の歴史Ⅱ
兼任	講師	番場 裕之 (50) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	講師	小池 康 (48) ＜平成29年 4 月＞
		Kanji Literacy III Kanji Literacy IV Project Work III Project Work IV

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	小早川 裕子 (57) ＜平成29年 9 月＞
		国際キャリア概論 留学のすすめ
兼任	准教授	山崎 享子 (46) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB スポーツ健康科学講義ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡB
兼任	助教	新井 保裕 (34) ＜平成30年 4 月＞
		国際キャリア概論
兼任	講師	船山 久美 (61) ＜平成29年 4 月＞
		Kanji Literacy I Kanji Literacy II Project Work I Project Work II
兼任	講師	田代 浩二 (54) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	講師	松原 俊文 (51) ＜平成29年 4 月＞
		世界の歴史Ⅰ 世界の歴史Ⅱ
兼任	講師	番場 裕之 (51) ＜平成29年 4 月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	高橋（丸山）織恵 (45) ＜平成29年4月＞
		日本事情A 日本事情B リーディング・ライティング演習 I（日本語） リーディング・ライティング演習 II（日本語） リーディング・ライティング演習 III（日本語） リーディング・ライティング演習 IV（日本語）
兼任	講師	因（高橋）麻衣子 (39) ＜平成29年4月＞
		リスニング・スピーキング演習 I（日本語） リスニング・スピーキング演習 II（日本語） リスニング・スピーキング演習 III（日本語） リスニング・スピーキング演習 IV（日本語）
兼任	講師	今野 亮 (37) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技 I A スポーツ健康科学実技 I B スポーツ健康科学実技 II A スポーツ健康科学実技 II B スポーツ健康科学実技 III A スポーツ健康科学実技 III B スポーツ健康科学講義 I
兼任	講師	田邊 誠 (36) ＜平成29年4月＞
		情報連携のための物理学A 情報連携のための物理学B
兼任	講師	ムスタツェア アレ クサンドラ (34) ＜平成29年4月＞
		Japanese Reading and Composition I Japanese Reading and Composition II Japanese Listening Comprehension I Japanese Listening Comprehension II
兼任	講師	相 尚寿 (33) ＜平成30年4月＞
		情報連携シビルシステム演習 I
兼任	講師	岩崎 大 (33) ＜平成29年4月＞
		全学総合 I A 全学総合 I B
兼任	講師	原 怜来 (28) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技 I A スポーツ健康科学実技 I B スポーツ健康科学実技 II A スポーツ健康科学実技 II B スポーツ健康科学実技 III A スポーツ健康科学実技 III B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	因（高橋）麻衣子 (40) ＜平成29年4月＞
		リスニング・スピーキング演習 I（日本語） リスニング・スピーキング演習 II（日本語） リスニング・スピーキング演習 III（日本語） リスニング・スピーキング演習 IV（日本語）
兼任	講師	今野 亮 (38) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技 I A スポーツ健康科学実技 I B スポーツ健康科学実技 II A スポーツ健康科学実技 II B スポーツ健康科学実技 III A スポーツ健康科学実技 III B スポーツ健康科学講義 I
兼任	講師	田邊 誠 (37) ＜平成29年4月＞
		情報連携のための物理学A 情報連携のための物理学B
兼任	講師	ムスタツェア アレ クサンドラ (35) ＜平成29年4月＞
		Japanese Reading and Composition I Japanese Reading and Composition II Japanese Listening Comprehension I Japanese Listening Comprehension II
兼任	講師	相 尚寿 (34) ＜平成30年4月＞
		情報連携シビルシステム演習 I
兼任	講師	岩崎 大 (34) ＜平成29年4月＞
		全学総合 I A 全学総合 I B
兼任	講師	原 怜来 (28) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技 I A スポーツ健康科学実技 I B スポーツ健康科学実技 II A スポーツ健康科学実技 II B スポーツ健康科学実技 III A スポーツ健康科学実技 III B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	因（高橋）麻衣子 (41) ＜平成29年4月＞
		リスニング・スピーキング演習 I（日本語） リスニング・スピーキング演習 II（日本語） リスニング・スピーキング演習 III（日本語） リスニング・スピーキング演習 IV（日本語）
兼任	講師	今野 亮 (39) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技 I A スポーツ健康科学実技 I B スポーツ健康科学実技 II A スポーツ健康科学実技 II B スポーツ健康科学実技 III A スポーツ健康科学実技 III B スポーツ健康科学講義 I
兼任	講師	田邊 誠 (38) ＜平成29年4月＞
		情報連携のための物理学A 情報連携のための物理学B
兼任	講師	ムスタツェア アレ クサンドラ (36) ＜平成29年4月＞
		Japanese Reading and Composition I Japanese Reading and Composition II Japanese Listening Comprehension I Japanese Listening Comprehension II
兼任	講師	岩崎 大 (35) ＜平成29年4月＞
		全学総合 I A 全学総合 I B
兼任	講師	原 怜来 (28) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技 I A スポーツ健康科学実技 I B スポーツ健康科学実技 II A スポーツ健康科学実技 II B スポーツ健康科学実技 III A スポーツ健康科学実技 III B

[illegible]

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	高島 美江 (56) ＜平成29年4月＞
		リーディング・ライティング演習Ⅰ（日本語） リーディング・ライティング演習Ⅱ（日本語） リーディング・ライティング演習Ⅲ（日本語） リーディング・ライティング演習Ⅳ（日本語）
兼任	講師	Knezevic julija (40) ＜平成29年4月＞ リーディング・ライティング演習Ⅰ（英語） リーディング・ライティング演習Ⅱ（英語）
兼任	講師	大庭 尚子 (34) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	講師	星 奈津美 (26) ＜平成29年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	講師	Sara Elizabeth Terre Blanche (30) ＜平成29年4月＞
		リーディング・ライティング演習Ⅱ（英語）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	高島 美江 (57) ＜平成29年4月＞ リーディング・ライティング演習Ⅰ（日本語） リーディング・ライティング演習Ⅱ（日本語） リーディング・ライティング演習Ⅲ（日本語） リーディング・ライティング演習Ⅳ（日本語） リスニング・スピーキング演習Ⅲ（日本語） リスニング・スピーキング演習Ⅳ（日本語）
兼任	講師	星 奈津美 (27) ＜平成29年4月＞ スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	講師	根本 牧 (68) ＜平成30年4月＞ Japanese Reading and Composition Ⅲ Japanese Reading and Composition Ⅳ Japanese Listening Comprehension Ⅲ Japanese Listening Comprehension Ⅳ
兼任	講師	倉本 幸彦 (61) ＜平成30年4月＞ Kanji Literacy Ⅲ
兼任	講師	水上 弘子 (61) ＜平成30年4月＞ 日本事情A 日本事情B リーディング・ライティング演習Ⅰ（日本語） リーディング・ライティング演習Ⅱ（日本語）

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	盛合 剛 (39) ＜平成30年4月＞
		情報連携デザイン演習ⅠA
兼任	講師	西沢 一登 (38) ＜平成30年4月＞
		情報連携デザイン演習ⅡA 情報連携デザイン演習ⅡB
兼任	講師	升井 裕子 (38) ＜平成30年4月＞
		リーディング・ライティング演習Ⅰ（英語） リーディング・ライティング演習Ⅱ（英語）
兼任	講師	三澤 祐嗣 (35) ＜平成30年4月＞
		全学総合ⅠA
兼任	講師	中村 礼子 (35) ＜平成30年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB
兼任	講師	曾川 安奈 (31) ＜平成30年4月＞
		情報連携デザイン演習ⅡA 情報連携デザイン演習ⅡB
兼任	講師	加藤 孝基 (31) ＜平成30年4月＞
		スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学実技ⅢA スポーツ健康科学実技ⅢB

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<情報連携学部 情報連携学科>

【平成29年度】

(専任)

- ・一身上の都合により、平松(高山)あい准教授の就任が平成29年4月から平成31年4月に遅延。
- ・専門科目の教員組織充実のため、桑実平助教の就任を平成30年4月から平成29年4月に変更。
- ・平成29年4月豊崎助教、谷智子助教、青柳西蔵助教、関根晃太助教就任。

(兼任・兼任)

- ・国際人の形成科目において、関山健准教授就任辞退により、小早川裕子准教授に変更。
- ・キャリア・健康科目において、金田英子准教授、原伶来講師就任辞退により、山崎享子准教授、大庭尚子講師、星奈津美講師に変更。
- ・総合・学際科目において、芦沢真五教授、小林正夫教授、花田真吾講師就任辞退。
- ・留学支援科目において、Joel Laurier講師就任辞退により、Wilson Matthew講師に変更。
- ・コミュニケーション科目(英語)において、Knezevic Julija講師、Sara Elizabeth Terre Blanche講師就任。
- ・コミュニケーション科目(日本語)において、高橋(丸山)織恵講師就任辞退により、高島美江講師に変更。

【平成30年度】

(専任)

- ・西川尚紀助教就任辞退により、朱金暁助教に変更。
- ・温文助教就任辞退により、黒田佳織助教に変更。

(兼任・兼任)

- ・専門科目において、相尚寿講師就任辞退。
- ・安原七重講師、市瀬規善講師、青木武夫講師、岡島康憲講師、盛合剛講師、西沢一登講師、曾川安奈講師就任。
- ・国際人の形成科目において、新井保裕助教就任。
- ・キャリア・健康科目において、大庭尚子講師辞任により、伊藤良彦講師、田蓑健太郎講師、佐藤耕平講師、中村礼子講師、加藤孝基講師に変更。
- ・総合・学生科目において、三澤祐嗣講師就任。
- ・留学支援科目において、Kia DeCou講師、Ivan Botev講師、Samantha Green講師、Wilson Matthew講師辞任。
- ・伊藤棋子助教辞任により、Robert Paterson講師に変更。
- ・留学生支援科目において、田中祐輔准教授、小池康講師辞任により、根本牧講師、倉本幸彦講師、久好孝子講師、古屋憲章講師に変更。
- ・コミュニケーション科目(英語)において、Knezevic Julija講師、Sara Elizabeth Terre Blanche講師辞任により、升井裕子講師に変更。
- ・コミュニケーション科目(日本語)において、水上弘子講師就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員

（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
22 名	11 名

(注)・大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
20	10	5	8	43	18	10	4	12	44	20	11	4	12	47
(13)	(4)	(5)	(9)	(31)						[-]	[1]	[△ 1]	[4]	[4]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	3 名	4 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）。

および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{47}{43} = 109.3\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{3}{44} = 6.81\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(注)・本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員(同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員研究指導教員等)が兼ねて担当する場合も含める)について記入してください。

(3) -① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	准教授	平松(高山) あい	必修	情報連携実習Ⅰ	①	一身上の都合により、平成29年度着任予定を、平成31年度着任に変更（29） ※担当予定科目のうち、平成29、30年度の開講科目は左記の1科目のみで他の専任教員が代替で担当し、残りの科目は着任後に担当する。							
2	助教	西川 尚紀	必修	情報連携基礎演習Ⅰ	①	一身上の都合により就任辞退（30）							
			必修	情報連携基礎演習Ⅱ	①								
			選択	情報連携ビジネス演習Ⅰ	①								
3	助教	温 文	選択	情報連携ビジネス演習Ⅱ	①	一身上の都合により就任辞退（30）							
			選択	情報連携エンジニアリング演習Ⅰ	①								
			選択	情報連携エンジニアリング演習Ⅱ	①								
			選択	情報連携デザイン演習Ⅱ	①								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する(している)場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修		科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択		科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計		科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する(している)場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{43} = 6.97\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合 計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修
		選択	科目	選択	科目	選択
		自由	科目	自由	科目	自由
		計	科目	計	科目	計

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任年度の変更のみで、平成31年度には着任するため、平成29年度、30年度の担当予定科目（少人数の複数コース開講科目）のみ、他の専任教員が代替で担当することで、学生の履修等には影響は発生しない。 また、教員組織としても、同分野の助教1名の着任を平成29年度に前倒しにするとともに、専門分野の助教を3名追加で採用しており、当初の設置届出時よりさらに充実させている。 学生への周知については、教育課程についての変更はなく、学生には着任した教員のみを周知しているため、特段、就任年度の変更を学生には周知していない。(29) 平成30年4月就任予定で合った助教2名の辞退に伴い、教員公募を行い助教を2名採用するとともに、他の専任教員が代替で担当することとしたため、学生の履修等には影響は発生しない。(30)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年 4 月)	・ 文学部日本文学文化学科（通信教育課程）及び法学部法律学科（通信教育課程）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項 ・ 文学部日本文学文化学科（通信教育課程）及び法学部法律学科（通信教育課程）の定員未充足の改善に向けて取り組んできたが、留意事項に則り、入学定員の見直しについて検討した結果、両学科ともに募集停止することとした。なお、平成28年12月6日付で、文部科学大臣に報告を行い、平成28年12月8日に募集停止に関する情報の公開を行った。(29)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (30年 2 月)	・ 文学部第1部国際文化コミュニケーション学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見 ・ 平成29年度入学定員の超過に至る経緯の検証に基づき、平成30年度においては、入学定員超過率を1.03とし、是正に努めた。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (30年 2 月)	・ 食環境科学研究科食環境科学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見 当該博士前期課程の基礎学部である食環境科学部との連携を考慮した上で、本研究科の教育課程及び研究指導上、必要な教員の研究分野、教育、研究実績等を勘案し、教育研究の継続性に支障のないよう教員補充を行うこととしている。平成30年度は、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員比率を、25%（平成29年度）より16%へ改善した。引き続き、教員組織編成の年齢バランスを考慮し、教員補充を進めていく。	履行済

（注）・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<情報連携学部 情報連携学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD活動に関しては、平成19年4月より、「東洋大学FD推進センター」及び「FD推進委員会」を設置し、センター長には副学長を充て、委員会はセンター長を委員長として、各学部・研究科から1名の委員を選出し構成してきた。

平成27年4月には、職員を構成員に含め、教職協働によるFD活動を推進していくことと、従来活動を行ってきた学生FDスタッフを「学生FDチーム」としてセンター直属の組織とし、学生の参画を得ることを規程上でも明確にした。

平成29年4月からは、これまでの「東洋大学FD推進センター」及び「FD推進委員会」を改組し、新たに「東洋大学高等教育推進センター」及び「高等教育推進委員会」を発足させ、これまでの活動を継承しながら、教学に係る大学運営の高度化と教育内容・方法の一層の質の向上を目的として活動事業の追加を図った。

具体的には、①SD（スタッフ・ディベロップメント）の研修会等の企画運営、②国内外の高等教育の動向に係る調査、研究及び情報提供、③新たな教育形態及び教育プログラム等の研究、開発などを事業に加え、部会の編成を「教育方法改善部会」「FD・SD研修部会」「高等教育研究部会」「教育開発・改革部会」「学生FDチーム」に改め、教員の資質向上に向けて取り組んでいる。

委員会の委員の構成については、従来の組織体制に加え、平成29年度よりさらに高等教育推進センター専属スタッフのセンター員を加えた形で全学的なFD組織として活動しており、カリキュラム編成に係る全学組織である「東洋大学全学カリキュラム委員会」や自己点検・評価を担う「自己点検・評価活動推進委員会」と有機的な連携を図りながら、教育課程と教育方法の両面の充実に取り組んでいる。

情報連携学部では、教員の資質の維持向上に特化した委員会は設置していないが、教授会や各種の専門委員会のほか、各専門分野において、授業科目担当者全員による会議を定期的に開催し、教育研究の質の維持向上に向けた情報共有や議論を進めている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全体委員会は年6回程度開催しており、規程上、各学部・研究科から1名ずつ選出される教員と教学執行部、関係職員、センター員で構成される委員の3分の2以上の出席をもって委員会は成立することとしている。また、委員会内の各部会についても、必要に応じてそれぞれ年3～5回程度開催している。

情報連携学部では、月1回の教授会のほか、教育研究に関する連絡・調整については随時ICTを活用して行うとともに、授業期間中には、前述の担当者による会議をほぼ毎週開催している。

c 委員会の審議事項等

(全学)

- ・ 委員会の年次活動計画、部会の設置と各委員の配属について
- ・ 各種FD・SD企画の開催について
- ・ 規程の改正について 等

(情報連携学部)

- ・ 共通の授業コンテンツの開発、各教員の理解、認識の共有
- ・ 各クラスの学生の学修状況や授業運営上の課題の把握、共有
- ・ レポート課題や試験の実施方法、学生の成績評価基準や習熟度別のクラス分け方針 等

② 実施状況

a 実施内容

b 実施方法

c 開催状況（教員の参加状況含む）

○ TA（ティーチング アシスタント）FD研修会

・講演及びワークショップ形式

平成29年4月15日、19日開催 参加者：162名（TA, SA）

○ 新任教員FD研修会

・講演及びワークショップ形式

平成29年7月8日 参加者：54名

○ GPA活用セミナー

・講演形式

平成29年12月2日 参加者：50名

○ 障がい学生支援に関する講演会

・講演形式

平成30年1月25日 参加者：35名

○ FDワークショップ

・講演及びワークショップ形式

平成30年2月23日 参加者：34名

○ 英語で行うためのFD研修会

・ワークショップ形式

平成30年3月13日 参加者：17名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

いずれの研修会も、直接的に各学部、研究科の教育改善、授業改善に資する取り組みである。また各学部、研究科では、さらに独自のFD活動を展開し、それらを高等教育推進委員会で共有するとともに、毎年、各学部、研究科ごとにFD活動報告書を作成し、それらを取りまとめて「東洋大学FD活動報告書」を作成している。

さらに、研修会等を収録した動画を学内のラーニングマネジメントシステムにて配信するなど、都合により参加できなかった教員の視聴も可能とするとともに、動画コンテンツを蓄積し有効活用している。

情報連携学部では、上記の結果として、数学、英語を中心とした補習教育の実施、必修科目の補講や再試験の実施、履修登録の上限単位数や入学者の受入れ方針の見直しなどを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成25年度より全学共通のフォーマットによる授業評価アンケートを実施している。全学部で専任教員は最低2科目、非常勤講師は最低1科目以上を実施することとし、平成29年度からは、実施方法をWEBに切り替えており、クォーター制度に対応した4期間（5月～8月の間、11月から翌年1月の間）のスケジュールで実施している。

また、実施したアンケート結果については統計処理を行い、「授業の分かりやすさ」「授業運営」「学習成果」「授業の難易度と進度」に分類したカテゴリごとの改善必要度を明らかにした教員個人の結果表を各教員に配付している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

全学共通のアンケートを開始した平成25年度秋学期分より、全学及び各学部のアンケート結果の平均値等について、大学ホームページにて公表している。

（URL：<http://www.toyo.ac.jp/site/fd/46570.html>）

また、学生への公開については、平成29年度より、ラーニングマネジメントシステムを通じて、当該科目の履修学生に対してアンケート結果を自動的に開示するシステムを取り入れている。さらに、各教員はアンケート結果に対する所見を同システム上に入力することとなっており、当該科目の履修学生はその所見についても確認できる仕組みとなっている。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙参照

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年5月11日（金）

b 公表方法

・上記のいずれもホームページにて公表

<http://www.toyo.ac.jp/site/quality-assurance/72905.html>

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価・機関別認証評価）を受審し、平成27年3月に「大学基準に適合している」との評価結果を受けている。評価結果は、大学基準協会及び本学のホームページにて公表済み。

平成26年度の認証評価の際の指摘事項については、平成27年度中に改善に取り組み、平成30年7月末までに改善報告書を提出予定である。

次期の大学評価（認証評価・機関別認証評価）の受審は2021年度を予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 2018年 5月 31日 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

[2. 校舎等建物の面積を減じようとする場合及び建築計画が遅延する場合の様式例]

建築等設置計画変更書

平成29年度開設

東洋大学 情報連携学部 情報連携学科		
建 物 区 分	認可時の計画	変 更 計 画
白山キャンパス校舎(1～10号館等) 他	217, 718. 73㎡	217, 407. 65㎡
	一部研究室・演習室等から校舎用途以外の部屋への改修等。研究及び授業には支障無し。	

(注) 1 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)

がある場合には、上記様式により提出してください。

ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。

2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。

3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

[2. 校舎等建物の面積を減じようとする場合及び建築計画が遅延する場合の様式例]

校地面積変更書

平成29年度開設

東洋大学 情報連携学部 情報連携学科		
団地の名称	認可時の計画	変 更 計 画
赤羽台キャンパス	20,114.21㎡	20,046.00㎡
	キャンパスに接する道路拡幅のための東京都への一部土地売却、及び登記手続きに伴う面積変更。校地、校舎の使用には支障無し。	

(注) 1 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)

がある場合には、上記様式により提出してください。

ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。

2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。

3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

東洋大学高等教育推進センター規程

平成 20 年 12 月 1 日

施行

平成 27 年 4 月 20 日

改正

平成 29 年 4 月 1 日

改正

平成 30 年 4 月 1 日

改正

(設置)

第 1 条 東洋大学（以下「本学」という。）は、東洋大学学則第 3 条の 3 及び東洋大学大学院学則第 1 条の 3 に基づき、「東洋大学高等教育推進センター」（以下「高等教育推進センター」という。）を設置する。

(目的)

第 2 条 高等教育推進センターは、本学の教育活動の継続的な改善、改革を組織的に推進、支援することを目的とする。

(事業)

第 3 条 高等教育推進センターは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育内容及び方法改善のための調査、研究及び支援
- (2) FD（ファカルティ・ディベロップメント）及びSD（スタッフ・ディベロップメント）の研究会、研修会、講演会等の企画、実施及び支援
- (3) 国内外の高等教育の動向に係る調査、研究及び情報提供
- (4) 新たな教育形態及び教育プログラム等の研究、開発
- (5) 各学部、研究科での教育活動の改善、改革の情報交換、調整及び支援
- (6) その他高等教育推進センターの目的達成に必要な事項

(センター長)

第 4 条 高等教育推進センターに、センター長を置く。

2 センター長は、高等教育推進センターの業務を統括し、高等教育推進センターを代表する。

3 センター長は、学長が指名する副学長とし、理事長が任命する。

4 センター長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、副学長の在任期間内とする。

(副センター長)

第 5 条 高等教育推進センターに、副センター長を置くことができる。

2 副センター長は、本学の専任教員のうちから、センター長の推薦を経て、学長が指名し、理事長が任命する。

3 副センター長は、センター長を補佐するとともに、センター長に事故があるとき、又はセンター長が欠けた場合は、センター長の職務を代理し、又は代行する。

4 副センター長の任期は、センター長の任期満了とともに終了する。ただし、再任を妨げない。

(センター員)

第6条 高等教育推進センターに、第3条に掲げる事業を推進するために、センター員を置くことができる。

2 センター員は、学内外の専門的な知識を有する者とし、センター長の推薦を経て、学長が指名し、理事長が任命する。

(高等教育推進委員会)

第7条 高等教育推進センターに、高等教育推進委員会（以下「推進委員会」という。）を置く。

2 推進委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

(1) センター長、副センター長

(2) 各学部から推薦された専任教員 各1名

(3) 各研究科から推薦された専任教員 各1名

(4) 教務部長

(5) 教務部事務部長

(6) 高等教育推進支援室長

(7) センター員

(8) 学長が推薦する本学専任教職員 若干名

3 前項第2号、第3号及び第8号に掲げる委員の任期は、2年とする。ただし、任期の途中で委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任することができる。

第8条 推進委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

(1) 第3条に掲げる事業に関する重要事項

(2) 学長から諮問された事項

(3) その他高等教育推進センターに関する重要事項

2 推進委員会はセンター長が招集し、その議長となる。

3 推進委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ開会することができない。

4 推進委員会の議決に当たっては、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、センター長が決する。

5 推進委員会は、必要に応じ、委員以外の者（学外者を含む。）を推進委員会に出席させ、その意見を求めることができる。

(部会)

第9条 高等教育推進センターに、第3条に掲げる事業を推進するために、部会を置くことができる。

2 部会の部会長は、推進委員のうちから推進委員会の議を経てセンター長が指名する。

3 部会の構成員は、推進委員のうちから部会長の意見を聴いてセンター長が指名する。

4 センター長が部会長と協議し、必要に応じ、推進委員以外の者を部会に加えることができる。

5 その他部会に必要な事項は、別に定める。

(学生FDチーム)

第10条 センター長のもとに、学生FDチームを置くことができる。

2 学生FDチームは、センター長のもとで、FD活動を行う。

3 学生FDチームは、本学の学部又は研究科に在籍する学生で、FD活動への参加を希望する者のうちから、センター長が任命する。

(細則)

第11条 この規程の実施について必要な事項は、推進委員会の意見を聴いて学長が定める。

(事務の所管)

第12条 高等教育推進センターの事務は、高等教育推進支援室の所管とする。

(改正)

第13条 この規程の改正は、学長が推進委員会及び各学部教授会の意見を聴いて行う。

附 則

1 この規程は、平成20年12月1日から施行する。

2 この規程施行の際、改正後の第6条第2項第2号、第3号、第4号及び第6号の委員は、現に「東洋大学FD委員会規程」により選出された委員をもって充てる。ただし、任期は、平成21年3月31日までとする。

3 東洋大学FD委員会規程(平成19年規程第8号)は、廃止する。

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

(別紙) ①設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部の人材の養成に関する目的は以下のとおりである。

コンピュータ・サイエンス教育を基盤とし、チームを組んで、コンピュータを使いこなし、情報を通して連携し、素早くアイデアを形にできるような人材を養成する。

プログラミングを含むコンピュータ・サイエンスの教育をすべてのコースの基盤とし、新しいビジネスを構築できるマネージャー人材、新しい公共をシステムとして構築できるコーディネーター人材、新しい製品と新しい情報サービスを技術とデザインの両面から具体化できる人材など連携イノベーションを起こせる中核人材を養成する。

まず学生の受入れについては、入学者の受入れ方針に従い、様々な価値観や興味、生まれ持った国籍など、社会にある多様性を確保するために、当初より、一般入試、センター利用入試、総合問題型入試、海外直接入試を含む外国人留学生入試など、多様な入学試験を実施している。

また同様に、情報通信技術が社会を変えていくこと、ネット社会で生活することに共感し、そのことに自身が関わることに興味と意欲をもつ人材を求めるために、AO型推薦入試では、「コンピュータ・サイエンス型」「実績型」「Web 体験授業型」の3つのジャンルを設け、それぞれ課題に対するプレゼンテーションによる選抜を実施した。

これらの多様な入試制度と、学生募集活動、学部の知名度の向上等により、志願状況としては、推薦入試では平成29年度176名に対し平成30年度231名、一般、センター利用入試では平成29年度2,968名に対し平成30年度4,974名と、本学部への志願者数を順調に増やすことができた。

一方、入学定員の管理についても、平成29年度は合格者の歩留まり率が予測を大きく上回ったため、定員400名に対して入学者が1.07倍の428名と28名の超過となったが、平成30年度はこれを厳格化して0.98倍の394名にとどめることができている。

なお、多様な学生の受入れに向けて、現在は、外国人留学生の平成30年度秋入学のための入学試験を実施しているほか、平成31年度入学者に向けた入試では、工業高等専門学校卒業生の3年次編入学試験を実施する予定であり、現在、工業高等専門学校との調整を進めている。

次に教育課程の編成について、教育課程の編成・実施の方針では、1年次及び2年次の教育を以下の方針で実施することとしている。

- ・1年次において、全学生を対象に、社会を支える共通基盤としてのコンピュータ・サイエンスの基礎と、世界各国の人々とのコミュニケーション能力を身に付けるための講義および演習を実施する。

- ・2年次以降において、情報通信技術による社会イノベーションの一端を担える人材となるために、学生が選択するエンジニアリング、デザイン、ビジネス、シビルシステムいずれかの専門分野について、高度な知識を身に付けるための講義と、実践的スキルを身に付けるための演習を実施する。

この達成に向けて、1年次では、必修科目としてコンピュータ・サイエンスとコミュニケーション科目を30単位配置しており、特に「情報連携基礎演習」「情報連携実習」「リスニング・スピーキング演習」「リーディング・ライティング演習」については35名程度の少人数・習熟度別クラスで実施している。

また1年次の秋学期には、エンジニアリング、デザイン、ビジネス、シビルシステムの分野の概論科目を開講し、各専門分野に関する導入教育を実施した上で、1年次終了時に専門分野のコース分けを行った。コース分けの結果は、エンジニアリング118名、デザイン87名、ビジネス118名、シビルシステム55名であり、学生の選択する専門分野に沿ってコース分けを行うことができています。

2年次では、このコースに沿って高度な知識を身に付けるための講義と実践的スキルを身に付けるための演習を実施する。これらの専門科目は、体系的な教育を実施するためにコースごとにカリキュラム・マップを作成し、各コースで各授業科目の内容を編成し、学生に明示するようにしている。

設置計画時からの授業科目の変更であるが、開講形態において、計画時には基盤教育科目をクォータ開講とする予定であったが、学生の履修の利便性と学修効果を考慮した結果、これをセメスタ開講に変更している。また、専門科目の演習、実習を通年開講とする予定であったが、学生の学修成果を段階的に測定するとともに、秋入学や学生の半期休学、短期留学などに弾力的に対応するためにこれをセメスタ開講に変更している。その他、一部の科目で授業内容の連続性からの科目の統合や、開講学期の変更が生じているが、いずれも教育方法上の工夫によるもので、教育内容自体に変更は生じていない。

また、基盤教育科目の一部で未開講科目が発生しているが、これは教育課程の編成・実施の方針において4年間を通して基盤教育科目を履修することを前提としており、未開講科目の5科目は、学問の基礎や一定の専門性を身に付けた後に履修することがふさわしい内容であることから、1、2年次のみの在学となる平成30年度までは未開講とすることとしている。また、留学生支援科目については、交換留学生のための日本語・日本文化教育科目として用意している科目であり、まだ交換留学生が存在しないために未開講となっている。

なお、平成29年度の入学生の428名について、進路再考、経済的事情による退学者の12名、病気療養等による休学者の5名を除いた411名のうち、33名の学生は、秋学期に複数回の補講と再試験を実施したにも関わらず、1年次に学部が求めているコンピュータ・サイエンスとコミュニケーションに関する学修成果を得ることができず、2年次のコース分けの

対象とはならなかった。

この点については、33名の学生の入試方式や入学後の学修状況を調査した結果として、数学の基礎学力とコンピュータ・サイエンスの学修成果との相関関係が強かったため、専任教員と嘱託職員（高等学校教諭退職者）による数学の入学前教育と入学後の補習教育の体制を整備するとともに、外部業者による基礎英文法講座を実施することとした。また、平成30年度からは、入学者の受入れ方針に「入学後の学修に必要な、基礎学力としての数学の学力と論理的思考力を有している人材を求める。」を追加し、学生募集活動においてこの点を強くうたっていくこととしている。

教員組織については、設置計画における平成30年4月着任予定教員13名のうち、助教2名が自己都合により就任を辞退したが、教授5名、准教授5名、助教1名については計画どおり平成30年4月に就任するとともに、助教2名分の後任についても公募により採用することができた。このことにより、専任教員は教授18名、准教授10名、講師4名、助教12名の計44名の体制となり、平成30年度の教育課程編成のために必要な教員組織を編成することができている。

設置計画時より専任教員の担当科目に追加が生じているが、この点については、概論、講義科目の教育内容のより一層の充実を図るとともに、演習、実習科目においてきめの細かい少人数教育や効果的なクラス編成を実施するための対応である。

学部運営としても、月1回の教授会のほか、各専門分野において、授業担当者全員による会議を定期的に開催し、カリキュラム編成、各授業運営、成績評価等について協議しながら教育を展開するとともに、ICTを活用してできるかぎり専任教員の負担軽減に努めている。

今後は平成31年4月に向けて、すでに教授2名、准教授1名の採用が確定しているほか、教育課程編成の必要に応じてさらに教員を増強していく予定である。

最後に、施設、設備の整備について、新設の赤羽台キャンパスについては、グループワーク用の少人数教育を中心とした一般教室、講義室やホール、ICT技術を駆使したものづくりのためのラボのほか、学生の個別学習、グループ学習が可能なメディアセンターやコミュニティスペースを完備している。また、最先端のIoT技術によって、様々な施設・設備がネットワークに接続されている未来のキャンパスであり、設備や機器が専用のAPI（Application Programming Interface）を提供することで、キャンパス全体が、情報連携学部の教育研究を実現させるために設計されている。

情報連携学部では、平成29年度よりこれらの環境を活用した教育を開始しており、すでに専用のAPIを使ったアプリケーションの開発を自ら行っている学生も多数存在している。学部としてはこれらの発表会も実施しており、優れた成果を上げた学生については、今後、学部としての表彰を行う予定である。

これらのことから、現時点では、本学部の設置の趣旨・目的についてはおおむね達成できていると判断できる。